平成 30 年度
事　業　報　告　書

社会福祉法人　淑徳福祉会

特別養護老人ホーム淑徳共生苑
淑徳共生苑短期入所生活介護事業所
淑徳共生苑通所介護事業所
淑徳共生苑認知証対応型通所介護事業所
淑徳共生苑居宅介護支援事業所
淑徳おゆみ診療所
千葉市あんしんケアセンター松ケ丘

目　次

1.　総括　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

２．　役員会開催報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

３．　職員配置・入退職状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

４．　施設内・外研修参加報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

５．　実習・施設見学実施報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

６．　年間行事及び地域交流報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

７．　各事業別報告

７－1．特別養護老人ホーム

（１）施設実績　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11

（２）入居者状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12

（３）施設相談員・介護支援専門員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　17

（４）施設看護・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　18

（５）機能訓練・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　20

（６）各ユニット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　22

７－２．短期入所生活介護事業所　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　28

７－３．通所介護事業所・認知症対応型通所介護事業所　・・・・・・・・・・・・　30

７－４．居宅介護支援事業所　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　34

７－５．淑徳おゆみ診療所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　35

７－６．千葉市あんしんケアセンター松ケ丘・・・・・・・・・・・・・・・・・・　36

７－７．　栄養　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　46

８．　各委員会・部会活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　49

９．　防災対策報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　57

10.　法話会活動報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　58

11.　ボランティア受入報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　60

12.　家族会実施報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　62

1. 総括

事業活動も年々広がる中、人材確保と職員育成において課題も多い一年でした。介護保険事業実績は維持できたが、事業によっては稼働状況の低下に伴う若干の減収となっている。主な要因としては、稼働内容の低下と入院者増・入退所者の増なども重なり、厳しい運営状況でした。千葉市からの受託事業のあんしんケアセンター事業と新たに生活支援コーディネーター事業も追加され、概ね事業は順調に実施することができた。現在は担当する圏域地域住民への理解も図られ、円滑な活動実績を挙げることもできている。また診療所事業は、診療報酬改定で薬価の見直しに伴い減収もあったが、概ね患者数も安定し収益を確保できた。

施設サービス稼働状況の低下は、重度・病弱者の増加や日常生活継続支援加算（入所者を要介護４及び５からの受入など）の取得に伴うもので、また新規入所者の高年齢化と疾病対応も重なり徐々に平均介護度も高くとなってきている。引き続き感染症対策も取り組んできたが、前年度に続いてインフルエンザを数名発症し、現場実習の時期とも重なったことでかなり調整に苦慮した。今後も年間通じて様々な実習を実施していくが、さらに感染症対策の強化を図る必要がある。

また、実習教育の取組みは、これまで同様に実習内容ごとの領域に合わせ専門職養成に従い、実践力を育む実習教育の拠点として責務を果たして行く。今後の安定した事業運営を図る上で人材確保は最重要課題となっているので、様々な方法を活用し採用対象者を求めていくことが急務である。加えて現状の事業内容を発展させていくには中核を担える職員の育成が不可欠なので、事業活動を発展できるよう組織の体制強化と各事業活動の活性化も図る必要がある。

施設長　　林　房吉

２．役員会開催報告

｜理事会開催報告

回	期日	出席理事	出席監事	報告事項及び議案	
第1回	6月5日	6名	2名	第1号議案	平成29年度事業報告、決算について
				第2号議案	定時評議会の召集について
				第1号報告	業務執行状況について
				第2号報告	事業執行状況について
				第3号報告	淑徳共生苑・おゆみ診療所の現況について
				第4号報告	淑徳共生苑だより第41号について
第2回	9月10日	6名	1名	第1号議案	平成30年度第一次補正予算（案）について
				第2号議案	業務委託契約について
				その他	消費税課税事業者について
				第1号報告	業務執行状況について
				第2号報告	会計執行状況について
				第3号報告	事業執行状況について
				第4号報告	淑徳共生苑・おゆみ診療所の現況について
				第5号報告	淑徳共生苑だより第42号について
第3回	12月11日	6名	1名	第1号報告	業務執行状況について
				第2号報告	会計執行状況について
				第3号報告	事業執行状況について
				第4号報告	淑徳共生苑・おゆみ診療所の現況について
				第5号報告	淑徳共生苑だより第43号について
第4回	3月25日	6名	1名	第1号議案	平成30年度第二次補正予算（案）について
				第2号議案	平成31年度事業計画（案）について
				第3号議案	平成31年度当初予算（案）について
				第4号議案	規定の一部改正について
				第5号議案	諸契約について
				第6号議案	永年勤続表彰について
				第1号報告	業務執行状況について
				第2号報告	会計執行状況について
				第3号報告	事業執行状況について
				第4号報告	淑徳共生苑・おゆみ診療所の現況について
				第5号報告	淑徳共生苑だより第44号について

｜評議員会開催報告

回	期日	出席評議員	出席監事	報告事項及び議案
第1回	6月19日	7名	1名	第1号議案　平成29年度事業報告、決算について

３．職員配置・入退職状況

（平成 31 年 4 月 1 日現在）

特養（短期入所含む）入所定員 100 名

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
施設長（管理者）	1	1	－
生活相談員	2	2	－
看護師	3	5	2
主任介護職員	1	1	－
介護職員	34	44	6
管理栄養士	1	1	－
介護支援専門員	1	1	－
医師	1	1	－
機能訓練指導員	1	1	－
事務長	－	1	－
事務員・庶務員	－	5	2
宿直員	－	3	3
計	45	66	13

通所（認知症対応型含む）利用定員 35 名

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者（兼務）	(2)	(2)	－
生活相談員	2	2	－
看護師	1	3	3
介護職員	5	9	3
運転手	－	1	1
計	8（10）	15(17)	7

居宅介護支援事業所

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者（兼務）	(1)	(1)	－
主任介護支援専門員	－	1	－
介護支援専門員	1	1	－
計	1（2）	2（3）	0

診療所

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
医師	1	2	1
看護師	－	2	2
事務員	－	2	1
放射線技師	－	1	1
薬剤師	－	2	2
計	1	9	7

あんしんケアセンター松ケ丘

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者（兼務）	(1)	(1)	－
保健師・看護師	3	2	－
主任介護支援専門員	3	4	－
社会福祉士	3	4	－
事務員	2	2	1
介護支援専門員		1	1
計	11（12）	13（14）	2

職員入退職状況（平成 30 年度中）

職種	入職	有期⇔正規雇用	退職
正規雇用職員	6	0	10
有期契約職員	4	2	9
計	10	2	19

４．施設内・施設外研修参加報告

内部研修

月	日付、内容、参加人数		
4 月	24 日	援助者の基本姿勢	32 名
5 月	16 日	リハビリレク	27 名
	22 日	基礎介護技術「食事」	28 名
	23 日	オムツについて（講義・実践）	18 名
6 月	5 日	ハンドタッチケアについて	20 名
	12 日	食中毒予防のための衛生的な手洗いについて	21 名
	26 日	身体拘束廃止について	21 名
7 月	10 日	基礎介護技術「排泄」・・・快適な排泄に向けて	22 名
	24 日	水分摂取について	22 名
8 月	14 日	事故防止研修	30 名
	30 日	口腔ケアについて	25 名
9 月	4 日	水分補給について	24 名
	11 日	基礎介護技術「入浴」	26 名
	19 日	褥瘡について	30 名
10 月	2 日	ユニットケアについて	28 名
	9 日	EPA 介護福祉士・ベトナムについて	29 名
	16 日	権利擁護と虐待について	30 名
	23 日	高齢者と栄養について	17 名
	30 日	接遇について	28 名
11 月	13 日	通所介護事業所について	26 名
	14 日	あんしんケアセンターの取り組みについて	21 名
12 月	4 日	ハンドタッチケアについて	16 名
	18 日	福祉用具について	25 名
	25 日	身体拘束廃止について	23 名
1 月	25 日	喀痰吸引について	25 名
3 月	5 日	居宅介護支援事業所の活動	24 名
	12 日	居宅介護支援事業所の活動	26 名
	19 日	苑外研修報告会	24 名
	22 日	リハビリについて	23 名
			計 711 名

外部研修

月	日付、内容、参加人数		
4 月	9 日	千葉市老人福祉施設協議会　施設長・管理者研修会	1 名
7 月	17 日	千葉県庁職員 EPA 外国人介護士見学・ヒアリング	3 名
	26 日	千葉県高齢者福祉施設協会　施設長及び担当者研修会	2 名
8 月	27・28 日	大巌寺研修	2 名
	27 日	認知症対応型通所介護事業者管理者研修	1 名
	30 日	外国人介護人材受入セミナー	1 名
9 月	7 日	千葉市老人福祉施設協議会　非常対策研修会	1 名
	11・12 日	第 54 回関東ブロック老人福祉施設研究総会・分科会・交流会	2 名
	25 日	東京都世田谷区（株）すずらん認知デイ見学研修	5 名
10 月	7 日	千葉市保健所　感染予防講習会	1 名
	4・5・29 日	千葉市　認知症介護実践者研修（12 月 12 日まで）	1 名
	9 日	市内いずみ苑（EPA 外国人介護士）研修	7 名
	19 日	千葉市老人福祉施設長及び事務担当者会議	1 名
11 月	8 日	千葉県高齢者福祉施設協会　居宅介護支援専門現任研修	2 名
	11・14 日	千葉県介護福祉士会　介護福祉士実習指導者講習会(12 月 15 日まで	1 名
	14 日	千葉県　平成 30 年度福祉サービス苦情解決研修会	2 名
	24 日	千葉市中央区多職種連携会議	1 名
12 月	7 日	千葉県高齢者福祉施設協会　施設介護支援専門員現任研修	1 名
	19 日	千葉市　介護認定調査員現任研修	1 名
	20・26 日	千葉市　認知症介護実践者研修（2 月 28 日まで）	1 名
3 月	14 日	千葉県高齢者福祉施設協会　施設長及び担当者研修会	1 名
	23 日	千葉県医師会　准看護師研修会	1 名
			計 39 名

５．実習・見学実施報告

見学・実習（大乗淑徳学園関連）実施状況

月	日程	学部等	内容	人数
5 月	22～24 日	看護栄養	老年看護学　デイ臨地実習	4 名
6 月	12～14 日	看護栄養	老年看護学実習Ⅰデイ臨地実習	6 名
	19～21 日	看護栄養	老年看護学実習Ⅰデイ臨地実習	6 名
8 月	6～24 日	総合福祉	相談援助（施設現場）実習（3 年生）	5 名
	6～24 日	総合福祉	相談援助（地域包括）実習（3 年生）	2 名
	27 日～9 月 14 日	総合福祉	相談援助（地域包括）実習（3 年生）	2 名
9 月	11～13 日	看護栄養	管理栄養士給食臨地実習	2 名
10 月	11 日	総合福祉	心理実践研究　久保田クラス	6 名
	22 日～3 月 31 日	大学院	臨床心理配属実習Ⅰ（長期実習）	2 名
	15～23 日（6 日間）	総合福祉	相談援助実習（導入実習）　3 グループ	計 64 名
11 月	21～30 日（2 日間）	総合福祉	心理実践研究　久保田クラス	6 名
	1～16 日（10 日間）	総合福祉	相談援助実習（導入実習）　5 グループ	計 108 名
12 月	5～21 日（3 日間）	総合福祉	心理実践研究　久保田クラス	6 名
1 月	21～2 月 2 日（12 日間）	総合福祉	相談援助実習（基礎実習）　2 グループ	計 48 名
2 月	4～3 月 2 日（18 日間）	総合福祉	相談援助実習（基礎実習）　3 グループ	計 63 名
3 月	4～23 日（18 日間）	総合福祉	相談援助実習（基礎実習）　3 グループ	計 63 名
				計 403 名

実習関係会議等参加状況

月	日程	学部等	内容	人数
4 月	19 日、26 日	総合福祉	相談援助実習Ⅰ振返り授業	2 名
	20 日～21 日	千葉	新入生セミナー看護師引率	4 名
5 月	10 日、17 日、24 日、31 日	総合福祉	相談援助実習Ⅰ振返り授業	2 名
	10 日	総合福祉	相談援助実習運営委員会	2 名
6 月	7 日、14 日、28 日	総合福祉	相談援助実習Ⅰ振返り授業	1 名
	20 日	総合福祉	実習教育センター担当者との会議	2 名
7 月	5 日	総合福祉	相談援助実習運営委員会	2 名
8 月	2 日	大学院	臨床心理配属実習担当者会議	1 名

10 月	4 日	総合福祉	相談援助実習運営委員会	2 名
	8 日	大学院	臨床心理配属実習報告会	1 名
	12 日	総合福祉	相談援助実習Ⅰ合同授業	2 名
11 月	23 日	総合福祉	相談援助実習Ⅰ合同授業	2 名
	24 日	総合福祉	社会福祉学会	1 名
12 月	4 日	総合福祉	相談援助実習運営委員会	2 名
	21 日	総合福祉	相談援助実習Ⅰ合同授業	2 名
				計　28 名

見学・実習（他学校・他団体）実施状況

月	日程	内容	人数
7 月	6 日	東京情報大学看護学部　臨地実習	4 名
	10 日	社会福祉法人ゆりの木会　施設見学	6 名
	11 日	東京都千葉福祉園　施設見学	2 名
	12 日	EPA ベトナム介護福祉士 4 期候補生　施設見学	27 名
8 月	20 日	千葉大学医学部 2 年　現場実習	1 名
	22 日	モンゴル技能実習担当者および政府関係者　施設見学	3 名
9 月	6 日	東京都浴風会職員　施設見学	1 名
	11 日	帝京平成大学健康スポーツ学部看護学科　老年看護学Ⅰ	60 名
	18 日	船橋ボランティア協会　施設見学	30 名
10 月	4 日	鎌ヶ谷市中央東地区社会福祉協議会　施設見学	35 名
11 月	5 日	台湾よりミュージックケア及び施設見学	15 名
	6 日	東京都千葉福祉園　施設見学	4 名
	7～9 日（3 日間）	千葉市立蘇我中学校　職場体験学習	2 名
	28 日	社会福祉法人マハヤナ学園　施設見学	13 名
2 月	16 日～28 日（7 日間）	デイサービス認知症現場実習	3 名
3 月	7 日	台湾みどり建築会　施設見学	20 名
			計 226 名

淑徳大学社会福祉学部社会福祉学科相談援助実習（基礎実習）

６．年間行事及び地域交流報告

月	日付	場所	行事	内容
4月	4月中	苑内	花見月間	特養・デイにてお花見のため外出
	2日	外出	永年勤続者表彰式	入職後10年勤続者を表彰
	6日	苑内	EPA1期生介護福祉士合格祝賀会	介護福祉士合格をお祝い
	13日	外出	イチゴ狩り	地域のイチゴ園へイチゴ狩りへ
	26日	外出	鯉のぼり見学	村田川へ外出し、鯉のぼり鑑賞
	27日	苑内	降誕会	宗教行事及びボランティア演芸披露
5月	5月中	苑内	子どもの日	正面玄関に鎧飾りを設置
	10日	苑内	母の日会	カーネーションプレゼントなど
	27日	苑内	家族会総会	家族会による清掃奉仕・総会・懇談会
6月	3日	地域	生実町内会体育祭	職員が地域の催しに参加
	7日	苑内	父の日会	喫茶サイホォンで居酒屋風におやつ提供
	15日	苑内	大巌寺幼稚園・慈光保育園交流会	特養を園児が訪問し、遊戯などを実施
	28日	外出	生実池外出	生実池で蓮の鑑賞
7月	7日迄	苑内	七夕	本物の竹を用意し、苑内に短冊を設置
	6日	苑内	盂蘭盆会	宗教行事及びボランティア演芸披露
	22日	苑内	納涼祭	夏祭り。家族、地域関係者など招く
8月	15日	苑内	生実町花火大会	地元花火大会を月影堂などから見学
	30日	苑内	花火レク	共生苑正面にて花火
9月	9日	地域	RUN伴2018	RUN伴2018ちばに職員が参加
	17日	苑内	敬老会	敬老のお祝い
	17日	地域	生実地区敬老会	地域の敬老会
	21日	苑内	大巌寺幼稚園・慈光保育園交流会	特養を園児が訪問し、遊戯などを実施
	29日	地域	生実町商工業会親睦会	生実町商工業会親睦会による屋形船乗船
10月	6日	地域	生実神社祭礼前夜湯立て式	地域神社の式典
	7日	地域	生実町青年会奉納演芸大会	地域の演芸会
	8,11日	苑内	運動会（デイ、特養）	おゆみホールにて運動会を開催
	17日	外出	買い物外出レク	地域のショッピングセンターへ外出
11月	3日	地域	生浜地区体育祭	地域の体育祭に参加
	19日	苑内	デイサービス文化祭	利用者様の作品展示など
	27日	地域	生実町内会婦人会演芸慰問	地域の婦人会の皆様による慰問
12月	1日	苑内	家族会清掃奉仕	家族会による清掃・懇談会を開催
	1日	地域	蘇我太鼓慰問	地域の団体による慰問
	7日	苑内	成道会	宗教行事及びボランティア演芸披露
	20日	苑内	クリスマス会	特養・デイにてイベント開催
	27日	苑内	餅つき会	おゆみホールにて餅つき大会開催
1月	1日	苑内	共生苑初詣	共生苑内での初詣を実施
	6日	地域	生実町内会新年会	地域の新年会
	7日	苑内	新春ニューイヤーコンサート	淑徳大学看護栄養学部生の慰問

月	日付　場所　行事	内容
1 月	17 日　外出　大巌寺初詣	大巌寺初詣へ外出
2 月	1 日　苑内　涅槃会 21 日　苑内　お茶会	宗教行事及びボランティア演芸披露 喫茶サイホォンにてお茶会
3 月	中旬迄　苑内　雛祭り 8 日　苑内　ロイター通信取材 28 日　外出　お花見	正面玄関に雛壇を設置 外国人介護士の労働状況について報道 大巌寺へお花見に外出

（特養ユニット毎の行事は P23～、デイサービスの行事は P32 に掲載）

・毎週木曜：特養合同レク
・毎週金曜：法話会
・第 2、4 水曜：外部講師によるミュージックケア（特養・デイ）
・第 3 水曜：外部講師によるリハビリレク（特養・デイ）
・隔週金曜日：ボランティアによる演奏披露（特養）
・月 2 回：ボランティアによる書道教室（特養）
・月 2 回：ボランティアによる書道教室（デイ）
・月 1 回：ボランティアによる生け花教室（デイ）

6 月　園児慰問

2 月　成道会

10 月　運動会

3 月　お花見

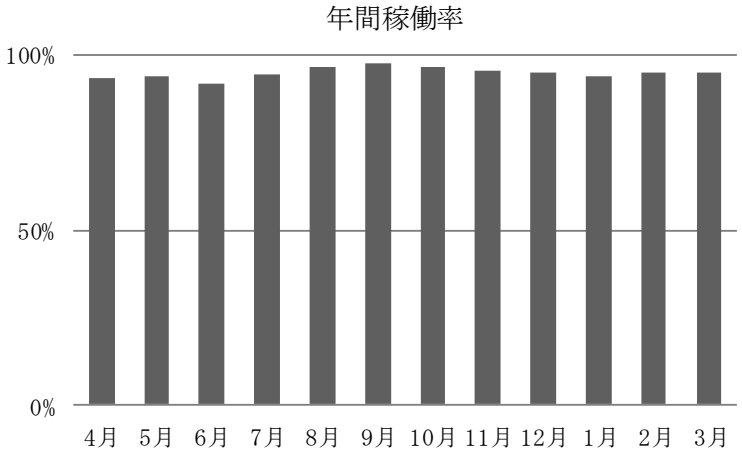
7. 各事業別報告

7－1. 特別養護老人ホーム

(1) 施設実績

｜年間稼働率

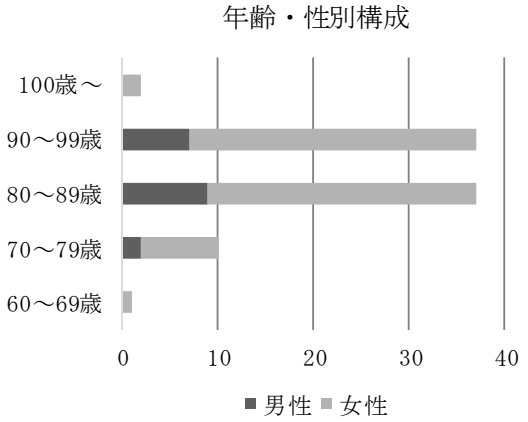
月	延べ人数						稼働率
	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	合計	
4 月	89	150	680	991	608	2,518	93.26%
5 月	93	155	736	1,038	600	2,622	93.98%
6 月	90	139	659	1,017	570	2,475	91.67%
7 月	93	155	702	1,035	650	2,635	94.44%
8 月	93	154	720	1,086	640	2,693	96.52%
9 月	90	150	682	1,020	690	2,632	97.48%
10 月	62	186	675	1,042	730	2,695	96.59%
11 月	60	180	673	917	718	2,548	95.37%
12 月	62	186	706	945	756	2,655	95.16%
1 月	61	185	709	859	806	2,620	93.91%
2 月	28	120	615	890	737	2,390	94.84%
3 月	31	124	663	999	848	2,665	95.52%
計	852	1,884	8,220	11,839	8,353	31,148	(平均) 94.81%



（２）入居者状況（平成 31 年 3 月 31 日時点）

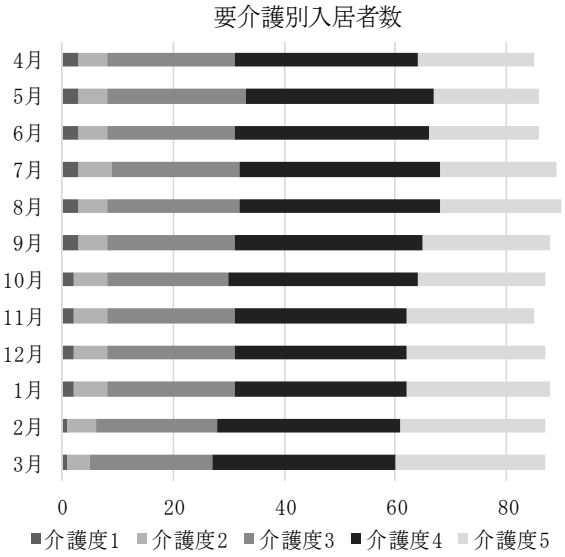
｜年齢・性別構成

	男性	女性	計
60～69 歳	0	1	1
70～79 歳	2	8	10
80～89 歳	9	28	37
90～99 歳	7	30	37
100 歳～	0	2	2
合計	18	69	87
平均年齢	87.9 歳	88.7 歳	88.6 歳



｜性別・要介護度別入居者数　（数値は月末時点）

月	介護度 1		介護度 2		介護度 3		介護度 4		介護度 5		合計	平均介護度
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
4 月	0	3	1	4	5	18	9	24	3	18	85	3.75
5 月	0	3	1	4	5	20	9	25	2	17	86	3.71
6 月	0	3	1	4	4	19	8	27	2	18	86	3.74
7 月	0	3	1	5	5	18	10	26	2	19	89	3.74
8 月	0	3	1	4	6	18	9	27	2	20	90	3.77
9 月	0	3	1	4	5	18	9	25	3	20	88	3.78
10 月	0	2	1	5	5	17	9	25	3	20	87	3.8
11 月	0	2	1	5	4	19	7	24	4	19	85	3.79
12 月	0	2	1	5	4	19	8	23	4	21	87	3.82
1 月	0	2	1	5	4	19	9	22	4	22	88	3.83
2 月	0	1	1	4	4	18	9	24	4	22	87	3.9
3 月	0	1	1	3	4	18	9	24	4	23	87	3.93

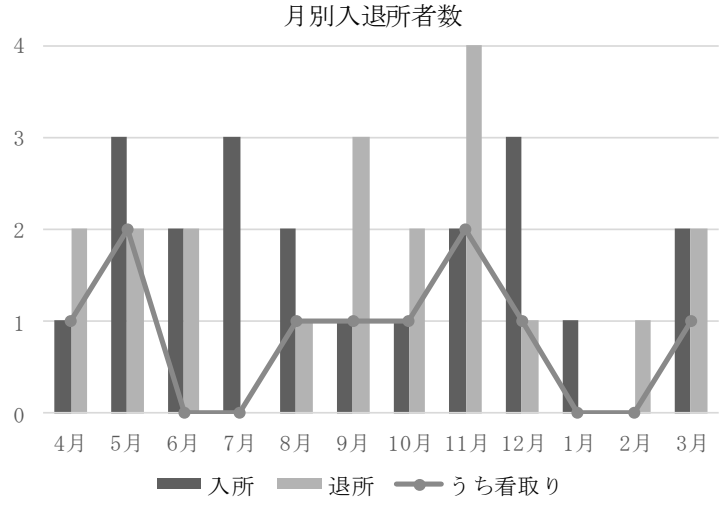


入所状況

No	日付	性別	年齢	入所前の居所
1	4月3日	男	86	盲養護老人ホーム
2	5月18日	女	81	老人保健施設
3	5月10日	女	84	医療機関
4	5月24日	女	95	居宅
5	6月4日	女	89	居宅
6	6月7日	女	94	居宅
7	7月5日	男	78	老人保健施設
8	7月12日	男	90	老人保健施設
9	7月26日	男	83	老人保健施設
10	8月10日	女	99	居宅
11	8月23日	女	88	居宅
12	9月27日	男	93	居宅
13	10月22日	女	99	居宅
14	11月19日	女	78	居宅
15	11月28日	女	91	老人保健施設
16	12月6日	女	88	居宅
17	12月12日	男	98	居宅
18	12月25日	女	74	医療機関
19	1月29日	男	92	居宅
20	3月1日	女	95	居宅
21	3月18日	男	83	居宅

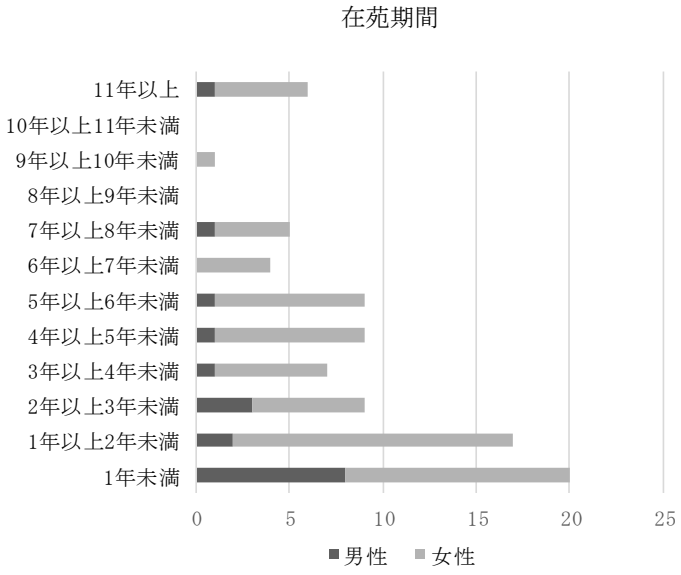
退所状況

No	日付	性別	年齢	退所事由
1	4月4日	女	83	施設内看取り
2	4月5日	女	78	長期入院療養
3	5月6日	男	91	施設内看取り
4	5月11日	女	94	施設内看取り
5	6月2日	男	87	死亡
6	6月26日	男	74	長期入院療養
7	8月1日	女	99	施設内看取り
8	9月6日	男	98	施設内看取り
9	9月26日	女	84	死亡
10	9月28日	女	89	長期入院療養
11	10月15日	女	92	施設内看取り
12	10月17日	女	96	施設内看取り
13	11月10日	男	93	施設内看取り
14	11月15日	男	77	施設内看取り
15	11月17日	女	87	長期入院療養
16	11月28日	女	99	死亡
17	12月20日	女	88	施設内看取り
18	2月9日	女	92	死亡
19	3月10日	女	100	長期入院療養
20	3月28日	男	79	施設内看取り



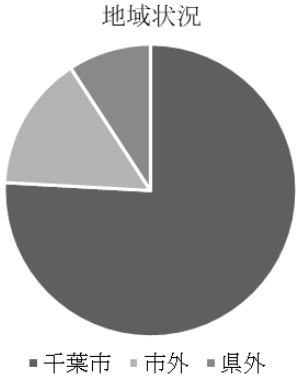
在苑期間

期間	男性	女性	合計
1 年未満	8	12	20
1 年以上 2 年未満	2	15	17
2 年以上 3 年未満	3	6	9
3 年以上 4 年未満	1	6	7
4 年以上 5 年未満	1	8	9
5 年以上 6 年未満	1	8	9
6 年以上 7 年未満	0	4	4
7 年以上 8 年未満	1	4	5
8 年以上 9 年未満	0	0	0
9 年以上 10 年未満	0	1	1
10 年以上 11 年未満	0	0	0
11 年以上	1	5	6
計	18	69	87
平均在苑期間（年）	2.6	3.9	3.6



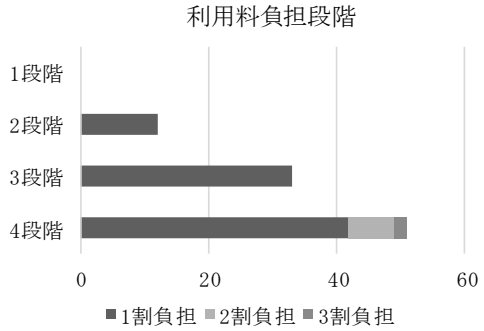
地域状況

	保険者	男	女	計
県内	千葉市中央区	10	36	46
	千葉市若葉区	2	4	6
	千葉市緑区	1	7	8
	千葉市美浜区	0	6	6
	館山市	0	1	1
	習志野市	0	1	1
	市原市	3	4	7
	勝浦市	0	1	1
	市川市	0	1	1
	船橋市	0	1	1
	八千代市	0	1	1
県外	東京都品川区	0	1	1
	東京都渋谷区	0	1	1
	東京都練馬区	1	0	1
	江東区	0	1	1
	江戸川区	0	1	1
	ふじみ野市	1	1	2
	筑西市	0	1	1
計		18	69	87



｜利用料負担階層

－	人数	2 割負担	3 割負担
1 段階	0	0	0
2 段階	12	0	0
3 段階	33	0	0
4 段階	42	7	2
計	87	7	2



｜外泊状況

－	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
人数	2	0	1	1	2	1	1	2	1	3	1	0	15
日数	2	0	1	2	2	2	1	2	2	6	1	0	21

｜月例別入院状況

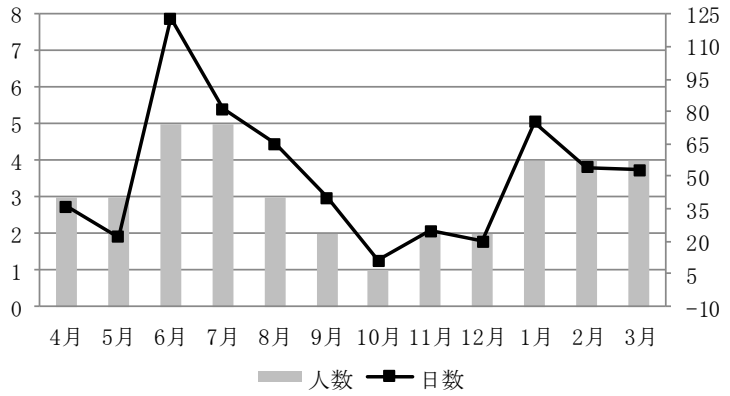
－	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	月平均
人数	3	3	5	5	3	2	1	2	2	4	4	4	38	3.16
日数	36	22	123	81	65	40	11	25	20	75	54	53	605	50.4

｜入退院状況

人数	入院日	退院日	入院日数	要介護度	性別	年齢	主な理由	病院	備考
1	2 月より継続	4 月 23 日	22	5	男	91	肺炎	四街道徳州会病院	
2	2 月より継続	4 月 5 日	5	4	女	78	胃潰瘍・肺炎	千葉大学 HP, 青葉病院	退所
3	4 月 16 日	4 月 26 日	9	3	女	85	胆のう摘出 OP		
4	5 月 21 日	6 月 27 日	36	3	女	89	イレウス	千葉中央メディカル	
5	5 月 25 日	7 月 5 日	40	4	女	87	間質性肺炎	千葉メディカル	
6	5 月 25 日	7 月 2 日	37	5	女	91	左大腿骨ｹｲ部骨折	千葉中央メディカル	
7	6 月 1 日	6 月 28 日	26	4	男	84	誤嚥性肺炎・脱水	柏戸病院	
8	6 月 19 日	8 月 21 日	62	5	女	98	右膝関節炎	おゆみ野中央病院	
9	7 月 1 日	7 月 19 日	17	4	女	95	検査、加療	柏戸病院	
10	7 月 3 日	9 月 28 日	87	4	女	89	胆のう炎	市川総合 HP	退所
11	8 月 17 日	9 月 13 日	26	4	女	87	むくみ治療	千葉メディカル	
12	10 月 19 日	11 月 17 日	28	4	女	87	血糖コントロール	千葉メディカル	退所
13	11 月 6 日	11 月 15 日	8	3	女	89	胆のう炎	千葉中央メディカル	
14	12 月 1 日	12 月 17 日	15	5	男	78	肺がん・胸水	千葉中央メディカル	

15	12 月 26 日	1 月 24 日	28	4	女	88	脱水	千葉東病院	
16	1 月 4 日	2 月 13 日	39	4	女	94	肺炎・右大腿骨ｹｲ部骨折	千葉中央メディカル	
17	1 月 9 日	1 月 17 日	7	4	男	87	S 状結腸軸捻転	千葉医療センター	
18	1 月 13 日	1 月 31 日	18	4	男	85	高血糖	青葉病院	
19	2 月 8 日	3 月 20 日	39	3	女	88	心不全	柏戸病院	
20	2 月 12 日	2 月 28 日	15	4	男	92	心不全	千葉メディカル	
21	2 月 21 日	3 月 10 日	17	4	女	100	脳出血	千葉中央メディカル	退所
22	3 月 16 日	4 月以降継続	15	4	女	94	大腸がん	千葉メディカル	
23	3 月 22 日	4 月以降継続	9	4	女	88	右大腿骨骨折	千葉中央メディカル	
計 605 日			一人平均入院期間 26.3 日						

入院状況(月例)



｜認知症高齢者の日常生活自立度

ー	人数
Ⅰ	2
Ⅱa	7
Ⅱb	24
Ⅲa	21
Ⅲb	16
Ⅳ	15
M	2
計	87

｜オムツ使用者の実人数

ー	人数
日中におけるオムツの使用者	73
夜間におけるオムツの使用者	73

｜医療的ケアが必要な入居者数

ー	人数
喀痰吸引（口腔）	3
喀痰吸引（鼻腔）	0
経管栄養（胃ろうのみ）	4

（３）　施設相談員・施設介護支援専門員

施設相談員報告

・　入所前調査により個々の個性や生活習慣を把握し、入所後には他職種連携のもと、入居者様１人ひとりの生活を尊重したケアを提供するよう努めた。
・　入居者様の日常において、体調変化・常勤医との面談・苑内外受診・救急搬送外出（合同レク）・物品購入依頼などご家族様との連絡・調整に努めた。
・　入居者様の入院・退院時の病院との連絡・調整に努めた。
・　カンファレンス（担当者会議）に参加し、入居者様の状態把握や家族への連絡・協力体制の整備に努めた。
・　法話会をはじめユニット毎の行事や合同レク・ミュージックケア・リハビリレク・書道クラブ・ひろの会・編み物クラブなどを通し、自ら選択することや自己決定することで、ご自分らしく生活できるよう支援した。
・　個々の生活空間である居室の整頓や、清潔で居心地のよい環境作りに努めた。
・　入居者様・ご家族様からの苦情・相談に対し相談内容の把握・調査のため、共感とともに話しを一通り聴くことにより解決に繋げ、入居者様・ご家族様への処理内容の報告説明、その後の経過観察に努めた。
・　入居者様の １ ヶ月以上の入院が見込まれる場合は一旦退所とし、退院時にはショートステイで受け入れ可能な体制をとり、次期入所のスムーズな入所を行った。
・　施設での看取り介護を希望されたご本人様・ご家族様に対し「淑徳共生苑看取り指針」を提示し他職種同席の元、説明・同意書を取るように日時を設定し開催した。
　また、看取り介護前後の家族の関わりや終了直後からの段取りや流れについて説明・調整・協力に努めた。
・　苑内外研修会や勉強会を通し、専門的知識や技術のレベルアップと介護者としての資質向上に努めた。

施設介護支援専門員報告

・　新規入所者も多く、入所者様、ご家族様が共生苑での暮らしを「ご自分らしく」

安心して過ごせるよう､お1人おひとりに寄り添うケアマネジケントに努めた。また、現在入所中の方々へは、新たな「思い」や「希望」を大切に、お話を傾聴し、叶えられるように他職種と検討し取り組んだ。

- 看取りをご希望の方には、ご本人が今までに語られた「人生の過ごし方」やご家族の「思い」を大切に、最期のときまで尊厳ある時間が過ごせるようこまめにお話し（カンファレンスを含む）を伺い、また各職種とも連携を図り、状況変化に応じたマネジメントに取り組んだ。また、看取りの振り返ることで、ご本人様やご家族様への関りを見つめなおすことができた。
- 介護保険要介護認定更新の代行申請を行った。また認定調査については、保険者からの依頼により、調査を実施した。
- ケアプランについては、6ヵ月に1回を基本に見直し、適切なマネジメントを行う。また、入院や状態変化における見直しについても積極的に行った。その過程では、ご本人様やご家族様とのカンファレンスや他職種との連携を大切に、全職種で皆さまの生活を支えるプランニングに取り組んだ。
- 苑内での行事やレクリエーション、毎週金曜日の法話会や各ユニット主催のレクに参加し、入所者様の普段とは違う一面に触れながら、「その人らしさ」をみつけられるように一緒に過ごす時間を大切にしてきた。また、ご家族様とも積極的にお話しをさせて頂き、関わりを多く持てるように努めた。
- 苑内外の研修に参加し、専門知識や技術の向上に努めた。

（4）施設看護

- 施設医療において、健康に生活できるレベルを保つこと、疾患に対して少しでも苦痛を取り除く事を最優先に考え、常勤医師との連携に努めた。

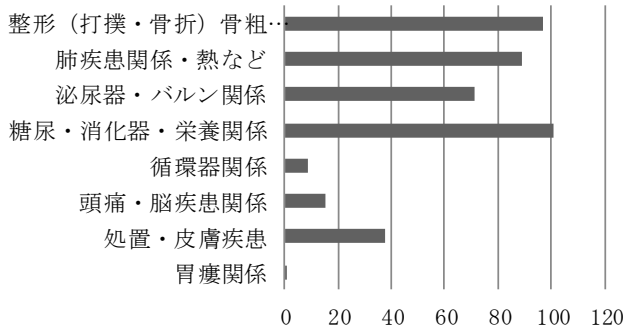
  施設看護体制の中で、糖尿病のインスリン注射及び内服管理・血糖コントロール・バルン留置（膀胱瘻含む）・胃瘻・癌治療（前立腺癌注射・疼痛管理・CTなどでの経過観察）・骨量検査・医師の指示のもとで看護師ができる範囲の医療を昨年同様提供できている。熱症状に対する対応としては、肺炎や熱の受診が上位を占めているが、そのほとんどは、ご自分の居室で内服を中心とした治療をする事ができている。また、疾患の程度によっては、診療所での点滴治療

が可能であり、内服と点滴治療でほとんどが回復され、他への感染もなく至っている。その結果として、入院者の人数も減少しており、看護としては、介護との情報連携を円滑に行い必要とされる医療を提供することで、早期治療・早期回復を可能とし、いつもの生活に早く戻していくという目標にすこしでも近づけたのではないかと思う。

- 看取りを含め、24 時間（夜間オンコール）における急変者・体調不良者対応についても、日頃の健康状態の把握・医師との連携などにより適切かつ迅速な対応に努めることが出来た。また、救急搬送・他病院受診付添い等の救命に関しての体制も、命に係わる責任と認識を常に持ち、誠心誠意の気持ちで対応していった。さらに、より知識を深めるための研修会・勉強会の参加、他職種とのカンファレンスや家族との話し合い等、より良い対応をめざした。
- 健康診断・体重管理・薬剤管理等、定期的に実施し、健康管理に努めた。
- 訪問歯科との情報を共有し、口腔予防衛生への取り組む体制作りができた。

｜淑徳おゆみ診療所受診状況

受診内容	受診人数
整形（打撲・骨折）骨粗鬆症関係	97 人
肺疾患関係・熱など	89 人
泌尿器・バルン関係	71 人
糖尿・消化器・栄養関係	101 人
循環器関係	9 人
頭痛・脳疾患関係	15 人
処置・皮膚疾患	38 人
胃瘻関係	1 人
計	421 人



｜訪問歯科受診状況

月	診療回数	受診人数（延べ）
4 月	4 回	22 人
5 月	5 回	28 人
6 月	4 回	24 人
7 月	4 回	18 人
8 月	5 回	21 人
9 月	4 回	31 人

｜他医療機関受診状況

診療科	受診人数（延べ）
内科	30 人
神経内科・精神科	11 人
眼科	8 人
癌関係	13 人
皮膚科	18 人
ペースメーカー管理	2 人

月	診療回数	受診人数（延べ）
10 月	5 回	36 人
11 月	4 回	32 人
12 月	4 回	20 人
1 月	4 回	12 人
2 月	0 回	0 人
3 月	4 回	20 人
計	57 回	264 人

診療科	受診人数（延べ）
耳鼻科	7 人
整形外科	23 人
胃瘻	3 人
計	112 人

機能訓練計画について

- 苑内集団活動リハビリとして、外部講師による音楽療法・体操を含めたリハビリレクリエーション、アロマオイルなどを使用したハンドマッサージ、職員が担当して行う合同レク（外出レク、おやつレク、出前レク、カラオケ、季節の行事等）を毎月定期的に実施した。

  また、他職種連携・協力のもと、筋力低下予防や、認知面の悪化予防、生活の質の向上等をめざし、より多くの入居者様が参加できるようにした。
- 各ユニット内での活動として、テレビ体操の利用・歌・個別でのユニット内歩行・散歩・洗濯たたみ・ぬり絵や折り紙等、スタッフとともにできる生活の中で多くの楽しみを作り健康増進に役立てた。
- 臥床時間の長期化における筋力低下を予防するため、寝たきりにしないように努めた。口腔内の衛生（訪問歯科との情報共有・研修参加）栄養管理として食事摂取状態の観察等も併せて行った。
- 実習生・ボランティアによるレクリエーション実施した。

（５）機能訓練

①　個別機能訓練加算の算定を開始

平成 30 年 4 月より、より多くの入居者様の身体機能維持のため、個別機能訓練加算の算定を開始した。当施設での機能訓練として、生活リハビリを主とした取り組みを実施している。

具体内容

- 1 日 1～2 ユニットでの機能訓練実施を基本とし、月～金の 5 日間で 9 ユニット(長期入所の全ユニット)の介入を行っている。

・　機能訓練対象者の作業療法士による個別対応は週 1 回としている。身体状況により個別対応回数は変化するものとする。
　非常勤理学療法士による介入は月 2 回、作業療法士とユニットをローテーションで回ることとしている。
・　他職種との連携により生活リハビリの推進を行い、日々の生活の中での機能訓練を実施している。
・　合同レクでのリハビリ体操や、ユニット内での体操・レクの実施を機能訓練の一環として行っている。
・　ご家族様へは、個別機能訓練加算の算定を開始する旨を書面にて送付し、同意を得たご入居者様より算定を開始した。
・　個別機能訓練実施計画書を主に作業療法士が作成をし、ユニットスタッフと共同して目標設定、プログラムの見直しを実施した。

｜機能訓練対象者数

ユニット名	介入人数
古里	10
大海・河川	18
秀峰・野鳥	19
名山・野原	18
星空・大空	18
計	83

②　記録・情報共有

・ 機能訓練実施･経過記録:　作業療法士がご利用者様の基本情報や日々の機能訓練の経過を PC 上に記載する。
・ 機能訓練業務日誌:　ユニット向けの記録を作成。介入したご利用者様の状態変化や、ユニットへのケア変更や自主トレーニングなどの依頼がある場合に記載をする。
　各ユニット･看護部へ配布し、他職種には回覧にて情報共有を図る。
・ 個別の運動プログラム：　必要性の高いご利用者様へは、作業療法士より自主トレーニングメニューを作成し、日々の運

動習慣を促している。

・　ポジショニングシート：　ベッド上や車椅子上での安楽姿勢を図る為に、必要度の高いご利用者様へはポジショニングシートを作製し、統一したポジショニングが行えるよう提示する

・　総合記録シート：　ユニットで使用している総合記録シートのリハビリ欄（「レク」「生活リハ」「OT」）を活用し、ユニットで行った際に丸をつけるようにする。OT の欄は作業療法士介入時に丸をつける。

③　リハビリ会議の実施

・　頻度：　3 月に 1 回、第 2 金曜日に開催。
（平成 30 年度開催日：8/10、11/9、2/8）

・　参加者：　介護長、生活相談員、看護師、ケアマネジャー、各ユニットリーダー、理学療法士、作業療法士

具体内容

・　作業療法士から機能訓練の現状と介入状況についての報告
・　各ユニットからの意見
・　他職種からの意見
・　今後の方向性について
・　検討事項(情報共有の仕方、記録・申し送りについてなど)
・　研修(環境設定について)

（６）各ユニット

2 階「古里・里山」（里山は短期入所）

今年度も、職員 1 人ひとりの介護技術の向上をはかり、個別支援の視点を忘れずに、入居者様により良い生活を送っていただくとともに、笑顔で過ごして頂けるよう支援をしていくという事を目標に取り組んできた。集団の生活の中での個別ケアとして、日々のケアに追われながらも、どのようにしたらその方に合った良いケアが行えるのか、安心して安全な生活をして頂くためにユニット職員で話

し合い、他職種と連携し、実施できるよう努めた。

また、本年は昨年より多くレクリエーションを実施することができた。調理や物を作る事で、普段の様子からはあまり見られない姿や表情をみることができた。

来年度は、更なる信頼関係の構築をするための寄り添い方コミュニケーションを図り、ゆったりとした時間の中で個々の特性を尊重し、QOL の向上や笑顔の表出につながる様なケアを行っていきたい。

年間行事（全体行事は P9～に記載）

ユニット	月	ユニット内行事	内容
古里・里山	4 月	お花見 いちご狩り	ドライブをしながら大巌寺へ行く 地元のいちご園へいちご狩りへ
	5 月	母の日レク 鯉のぼりツアー、 外出レク	女性入居者へ花のプレゼント・パフェ作り， 鯉のぼりを見に行く 近隣のモールに買い物をしに行く
	6 月	おやつレク 体操レク	あんみつ作り 職員が考えた体操・ゲームを行う
	7 月	七夕	笹を飾り、短冊に願い事を書く
	8 月	花火大会 納涼祭	生実町納涼花火を鑑賞 毎年恒例の夏祭り
	9 月	敬老会	長寿の方を祝う
	10 月	運動会 昼食レク	入居者・職員が競技に参加 おにぎり＆豚汁作り
	11 月	焼き芋 おやつレク	合同レクで焼き芋を食べる ホットケーキ作り
	12 月	クリスマス会、餅つき 昼食レク	入居者とクリスマスの飾りを飾る、餅つき大会に参加 昼食にお鍋を作る
	1 月	初詣	合同レクで大巌寺へ初詣に行く
	2 月	節分 100 歳のお祝い	豆まき 100 歳を迎えた入居者様のお祝い
	3 月	外出レク	ドライブ

中庭でのお茶会

10 月　おにぎり＆豚汁作り

2階「大海・河川」

今年度はスタッフ１人ひとりが仕事に対してやりがいと責任感を持ち、入居者様が笑顔でその人らしく、望んでいる日常生活ができるよう支援する事を目標に取り組んできた。スタッフそれぞれがニーズの把握に努め、日々のケアについて質の向上、安全かつ安心できる環境の提供について考え良いケアができるように意見を出し合いケアの変更や環境整備を行った。状態変化により看取り介護となった入居者様に対し、その時にできる最善のケアを多職種含め考え、実施することができた。

レクリエーションは食事に対してのニーズが多くあり昼食作り実施し皆様に大変好評であった。

年間行事（全体行事はP9～に記載）

ユニット	月	ユニット内行事	内容
大海・河川	4月	いちご狩り・鯉のぼり	外出（合同レク）
	5月	母の日	母の日を祝う（合同レク）
	6月	父の日レク	サイフォンにて居酒屋風におやつ提供（合同レク）
	7月	七夕・スイカ割・納涼祭 昼食作り（お好み焼・焼きそば）	短冊に願いを書く・スイカ割をする・苑内行事 昼食にホットプレート使い調理
	8月	花火	生実町花火大会鑑賞
	9月	敬老会	苑内行事
	10月	買い物（合同）	外出（合同レク）
	11月	昼食作り（餃子）	昼食に餃子作り
	12月	餅つき・柚子湯・出前	苑内行事・入浴時柚子を浮かべる・昼食寿司の出前
	1月	苑内初詣・大巌寺初詣（合同） 最高齢者の誕生祝い	苑内行事・かるたとり（合同レク） 誕生会（昼食にケーキ・オードブル・ちらし寿司）
	2月	昼食作り（巻き寿司）	昼食に巻き寿司作り
	3月	花見	大巌寺に花見（合同レク）

1月　誕生会

2月　巻き寿司作り

3階「秀峰・野鳥」

今年度は、例年とは違った新たなユニットレクの企画・運営を行うことができ、入居者様より、多くの喜びの声や笑顔を頂くことができた。日常のアクティビティにも力を入れ取り組むことができた。チームケアの強化をめざし、ユニット全体で入居者様の最善のケアの検討を行う仕組みを考え取り組んだが、浸透・定着させることが難しく、次年度の課題となっている。各スタッフがチームの一員としての自覚を持ち、気付きを大切に、早急なケアの改善に努めていきたい。

年間行事（全体行事はP9～に記載）

ユニット	月	ユニット内行事	内容
秀峰・野鳥	4月	いちご狩り・鯉のぼり見学	合同レクとしていちご狩りに行く
	5月	母の日	母の日として女性の入居者様をねぎらう。
	6月	生実池に蓮の花見学 父の日	合同レクとして生実池に蓮の花の見学に行く。 父の日として男性の入居者様をねぎらう。
	7月	すいか割り　納涼祭	ユニット内にてすいか割りを行う。
	8月	生実町花火大会・夏祭り	ゲーム等の出店やかき氷を提供し、楽しんで頂く。
	9月	カラオケ・敬老会	ユニット内でカラオケ大会を行う。
	10月	運動会・紙芝居披露	紙芝居の読み聞かせと駄菓子の提供を行う。
	11月	秋祭り（合同レク）	ゲームの出店を用意し入居者様に楽しんで頂く。
	12月	餅つき・すいとん鍋	すいとん入りのお鍋を作り召し上がって頂く。
	1月	苑内初詣・新年会	二人羽織の披露、お正月遊びを行う。
	2月	節分レクリエーション	節分にちなんだレクリエーションを行う。
	3月	お誕生日会　お花見	100歳を迎えた方のお祝いを行う。

8月　夏祭り

3月　お誕生会

3階「名山・野原」

今年度は、穏やかに楽しく生活できるよう、居心地の良い環境作りを目標に取り組んだ。入居者様やご家族様の声に耳を傾け、心の通うケアを意識して取り組めた。毎月のユニット会議開催を予定していたが、開催出来ない月もあり、書面のみの伝達となってしまうことがあった。次年度は、短時間でもユニット会議を行い、ユニットスタッフの意見をもっと取り入れ、他職種との情報共有・連携にしっかり取り組んでいきたい。

年間行事（全体行事はP9～に記載）

ユニット	月	ユニット内行事	内容
名山・野原	4月	花見・昼食レク	お花見・お寿司を出前する
	5月	母の日・菖蒲湯・おやつレク	母の日を祝う・菖蒲湯に入る・駄菓子を食べる
	6月	父の日・梅ジュース・DVD鑑賞	父の日を祝う・梅ジュースを作る・DVD鑑賞
	7月	七夕・昼食レク	七夕飾りをする・そうめんを食べる
	8月	おやつレク	アイスクリームを食べる
	9月	昼食レク	うなぎを食べる
	10月	運動会	苑内行事として開催される
	11月	昼食レク	お寿司を出前する
	12月	ゆず湯	ゆず湯に入る
	1月	お屠蘇・初詣	苑内行事
	2月	節分	豆まきをする
	3月	ひな祭り	苑内行事

7月　おみこしと（納涼祭）

10月　運動会（ボール送り）

4階「星空・大空」

スタッフ1人ひとりが意識をしながら入居者様との日々のコミュニケーションをとる中でニーズを把握し、入居者様みなさまの笑顔のためケアの向上を目指し、みなさまが笑顔で過ごせるよう努めた。

今年度も日々のコミュニケーションに加え、ユニット会議などを通して入居者様の想いやニーズを皆で共有し、スタッフ１人ひとりが意識を持って入居者様の生活の向上のために情報を共有していく。

｜年間行事（全体行事はP9～に記載

ユニット	月	ユニット内行事	内容
星空・大空	4月	花見ドライブ	桜を見にドライブへ行く
	6月	お寿司買い物レク	お寿司、買い物で外出
	7月	納涼祭	入居者の交流を図る
	8月	花火 そうめんレク	生実町納涼花火を鑑賞
	9月	敬老会	入居者の交流を図る
	10月	運動会	ユニモへ買い物、ランチ
	11月	紅葉狩り 出前レク	紅葉を見にドライブへ行く
	1月	初詣　鍋レク	初詣で外出
	3月	映画鑑賞 ひな祭り	花見、買い物で外出

6月　回転ずし（外出レク）

10月　ショッピングモールでお買い物

７－２．短期入所者生活介護事業所（ショートステイ）

今年度も昨年度から取り組んでいた、利用者が日々穏やかに生活できる環境作りを継続的に行い、居室内環境の見直し、生活の場所としてのリビングのしつらえの設定（テーブル・ソファ・テレビなどの配置の仕方）を検討し、利用者様が集まり語らいながら過ごせる居場所作りに取り組み、定期的にご利用される利用者様の方々は徐々に施設内の環境にも慣れてきたようであった。また、利用者様お一人ひとりに職員が関わることができる時間は限られているため、居室で過ごす時間が多い方も日中はリビングで過ごしていただけるよう声かけし、職員が仲介役となりレクリエーションや体操を通し交流を図ることで全体的に見守りを行えるよう工夫した。

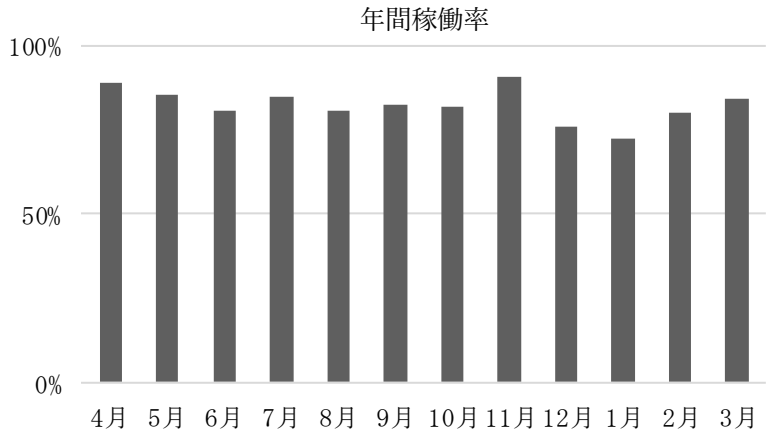
この２点の取り組みを継続したことにより、しばらくすると利用者様同士が部屋を行き来し、声をかけあいリビングで過ごす時間が増え、関係の構築もみられ、徐々に余暇活動を楽しまれる姿が増えてきた。

今年度は、冬の感染症の流行時期でも感染症等に罹患する利用者様はおらず、平均の年間稼働率としては、前年度に比べ増加となった。次年度も、在宅のケアマネジャーや多職種とのさらなる連携を図り、急な入院、長期入所にも即座に対応できるようにバランスを図りながらスケジュールを立てていきたい。

また、デイサービスとの利用者情報の共有を図り、食事・排泄・入浴などの基本的な部分で介助に変化がないように努め、次年度も利用者様が穏やかに生活できる環境を考え、安全に効率よく運営できるよう取り組んでいきたい。

(1) 年間稼働率

月	延べ人数								稼働率
	要支援１	要支援２	介護度１	介護度２	介護度３	介護度４	介護度５	合計	
４月	0	0	56	64	71	53	23	267	89.0%
５月	0	6	66	46	82	50	16	266	85.8%
６月	0	4	57	48	86	21	26	242	80.7%
７月	0	4	70	53	68	23	45	263	84.8%
８月	0	4	79	44	47	34	43	251	81.0%
９月	0	4	54	53	65	54	18	248	82.7%
10 月	0	5	50	54	80	45	20	254	81.9%
11 月	0	8	72	53	73	33	34	273	91.0%
12 月	0	4	63	50	46	27	46	236	76.1%
１月	0	4	82	49	25	16	48	224	72.3%
２月	0	4	66	46	35	13	61	225	80.4%
３月	0	4	93	36	54	21	53	261	84.2%
計	0	51	808	596	732	390	433	3,010	(平均)82.5%



（２）利用者状況（平成 31 年 3 月 31 日時点）

｜利用者年齢・性別構成

年齢	男性	女性	合計
60～69 歳	0	1	1
70～79 歳	1	7	8
80～89 歳	2	7	9
90～99 歳	2	7	9
100 歳～	0	0	0
計	5	22	27

｜利用者地域（保険者）

地域	男性	女性	合計
中央区	4	16	20
緑区	0	0	0
若葉区	1	4	5
美浜区	0	0	0
稲毛区	0	1	1
その他	0	1	1
計	5	22	27

｜性別・要介護度別利用者数

介護度	男性	女性	合計
要支援 1	0	0	0
要支援 2	0	1	1
要介護 1	0	8	8
要介護 2	1	4	5
要介護 3	2	3	5
要介護 4	2	2	4
要介護 5	0	4	4
計	5	22	27

｜契約状況

月	新規	中止	中止理由	増減	継続
4 月	3	0		3	56
5 月	2	2	他施設利用	0	56
6 月	5	2	永眠	3	59
7 月	2	0		2	61
8 月	2	1	他施設利用	1	62
9 月	6	2	他施設入所	4	66
10 月	5	0		5	71
11 月	3	1	永眠	2	73
12 月	3	2	他施設入所	1	74
1 月	0	0		0	74
2 月	2	1	長期入所	1	75
3 月	3	0		3	78
計	36	11		25	805

７－３．通所介護・認知症対応型通所介護事業所（デイサービス）

平成 30 年度は介護保険制度の改正にはじまり、非常に慌ただしい年度初めとなった。時間区分の変更（短縮）に伴い、プログラムの見直しと職員の役割分担の再編成を行った。提供するサービスの内容を分かりやすくシンプルに、時間を間延びさせず利用する方が入浴や食事、リハビリやレクリエーションなど「今何をする時間なのか」明確に取り組むことで主体的な行動を促し、生活動作の維持とメリハリのある過ごし方が出来たのではないかと考える。また、あれこれと業務の都合で職員を分散させず、時間時間で一つの業務に集中させることにより効率の良い作業動線を整備できたのではないかと実感している。利用者様の目線で考えると、だらだらと長時間滞在することなく、疲れの残らない時間配分で利用することにより、ご自宅に帰ってからの家事の心配・負担を軽減することで安心して利用できる事業所という認識につながった。冬場でも明るいうちに帰宅できる安心感、帰宅してからの生活時間の確保も満足度に直結するものと感じ取れた。生活を共にする家族としても、年々増加する介護報酬と負担せねばならない利用料の軽減はかなり意味のあるものではないかと感じた。なぜかというと、近年関わるケースでよく聞かれるのが経済的な困窮によりサービス量が確保できず、本人はもとより家族の就労・生活にも支障をきたしている状況が散見され、介護負担を目の当たりにすることが多くなったことにある。サービスの調整を図る上でも有意義であったと考える。

今年度、特徴として感じられたのは 70 歳代と比較的若い世代の利用が増えたことである。まだまだ利用される中心の年代は 80 歳代後半から 90 歳代前半の方たちではあるが、70 歳代の割合が現実として増えてくると「団塊の世代」を実感せずにはいられない。また、下は 70 歳代から上は 100 歳近い方が混在する状況としては、年代のギャップも出てくるのではないかと感じる。具体的には「スマートフォン」を日常的に使用している方たちがいる、ということである。こうなってくると介護保険事業所としてのサービス内容にも何かしら変化が出てくるのではないかと気が気でない。我々としても漫然と業務をこなすのではなく、社会的な情勢（たとえば技能実習生など）・地域的な実情など、変化を敏感に感じ取りながら柔軟に対応していける力をつけていきたい。

一年を通して安定した稼働を維持することが出来たことは嬉しいが、ただ、この後に控える消費増税を考えると、また新たな課題が出てくるのではないかと懸念材料がないわけではない。各事業所と情報共有を図りながら、地域で必要とされる・地域に選ばれる事業所でありたい。

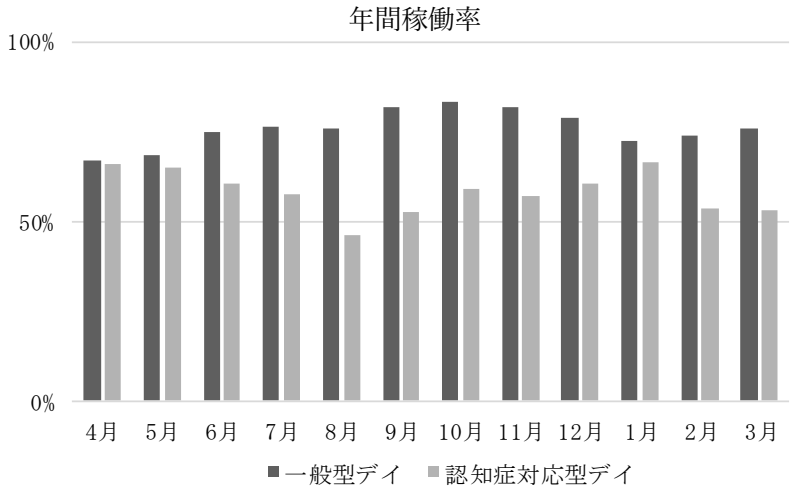
(1) 年間稼働率

｜ 一般型デイサービス稼働率

月	延べ人数						稼働率
	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	合計	
4 月	127	159	69	52	12	419	67.0%
5 月	137	146	101	65	12	461	68.3%
6 月	160	151	107	56	13	487	74.9%
7 月	175	156	108	50	7	496	76.3%
8 月	214	164	99	36	0	513	76.0%
9 月	206	181	91	34	0	512	81.9%
10 月	218	184	113	45	0	560	83.0%
11 月	208	175	109	39	0	531	81.7%
12 月	187	172	98	35	0	492	78.7%
1 月	159	170	69	35	2	435	72.5%
2 月	159	155	89	35	4	442	73.7%
3 月	170	178	102	38	5	493	75.8%
計	2,120	1,991	1,155	520	55	5,841	(平均) 75.8%

｜ 認知症対応型デイサービス稼働率

月	延べ人数						稼働率
	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	合計	
4 月	0	12	1	42	110	165	66.0%
5 月	0	13	0	42	120	175	64.8%
6 月	0	12	12	43	90	157	60.4%
7 月	0	12	10	44	84	150	57.7%
8 月	8	20	5	46	46	125	46.3%
9 月	8	39	0	48	36	131	52.4%
10 月	8	35	0	55	61	159	58.9%
11 月	5	22	12	51	58	148	56.9%
12 月	11	25	19	42	54	151	60.4%
1 月	9	20	43	35	52	159	66.3%
2 月	4	23	24	32	46	129	53.8%
3 月	0	25	27	38	48	138	53.1%
計	53	258	153	518	805	1,787	(平均) 58.1%



（２）利用者状況（平成 31 年 3 月 31 日時点）

｜契約状況

月	一般型デイ					認知症対応型デイ				
	新規	中止	中止理由	増減	継続	新規	中止	中止理由	増減	継続
4 月	3	1	死亡	2	48	0	0		0	11
5 月	2	2	入所 1、認知デイ 1	0	48	1	1	入院	0	11
6 月	4	1	死亡 1	3	51	1	1	入院	0	11
7 月	3	4	施設入所 1、入院 3	−1	50	1	1	入院	0	11
8 月	4	1	入院 1	3	53	1	1	入院	0	11
9 月	0	3	入院 2、認知デイ 1	−3	50	1	0		1	12
10 月	0	0		0	50	1	1	死亡	0	12
11 月	1	2	施設入所 2	−1	49	1	1	施設入所	0	12
12 月	0	1	施設入所 1	−1	48	2	1	死亡	1	13
1 月	2	2	入院 1、死亡 1	0	48	2	1	死亡	1	14
2 月	1	2	死亡 1、自己都合 1	−1	47	1	3	入所 2、入院 1	1	12
3 月	1	0		1	48	0	2	死亡 1、入所 1	−2	10
計	21	19		2	590	12	13		2	140

｜要介護度別利用者

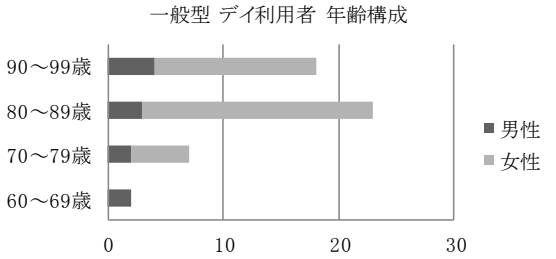
要介護度	一般型デイ		認知症対応型デイ	
	男性	女性	男性	女性
要支援 1	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0
要介護 1	3	13	0	0
要介護 2	3	13	1	0
要介護 3	3	6	1	0
要介護 4	3	3	2	1
要介護 5	0	1	1	6
計	12	36	5	7

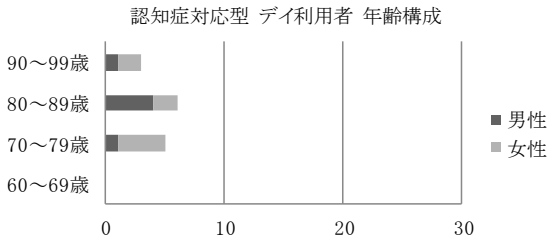
｜利用者地域（保険者）

地域	一般型デイ		認知症対応型デイ	
	男性	女性	男性	女性
中央区	10	32	5	5
緑区	1	3	0	1
若葉区	0	0	0	1
その他	1	1	0	0
計	12	36	5	7

｜利用者年齢・性別構成

年齢	一般型デイ		認知症対応型デイ	
	男性	女性	男性	女性
60～69 歳	2	0	0	0
70～79 歳	2	5	1	4
80～89 歳	3	20	4	2
90～99 歳	4	14	1	2
計	11	36	6	8





（3）年間レクリエーション

｜レクー覧

月	行事
4 月	お花見ドライブ ティーパーティー 生実町慰問（みつる会）
5 月	菖蒲湯 母の日バイキング（昼食）
6 月	シルバームーン（カラオケボランティア） 父の日カフェ（おやつ）
7 月	おやつレク（クリームあんみつ） 七夕写真撮影会 七夕歌謡ショー
8 月	バーベキュー かき氷
9 月	敬老会 シルバームーン（カラオケボランティア）
10 月	デイ運動会 お好み焼き作り
11 月	文化祭 鍋パーティ シルバームーン（カラオケボランティア）
12 月	クリスマス会 紅白歌合戦 餅つき会
1 月	新年会 鍋パーティ
2 月	節分・豆まき おやつバイキング シルバームーン（カラオケボランティア）
3 月	お花見ドライブ

｜回数

月	昼食・おやつ	ミュージックケアリハビリレク	書道	生花	苑内レク	外出レク	合計
4 月	2	3	1	1	0	4	11
5 月	2	3	1	1	4	0	11
6 月	2	4	1	1	0	0	8
7 月	2	4	1	1	6	0	14
8 月	2	4	1	0	0	0	7
9 月	0	4	1	1	2	0	8
10 月	2	4	1	1	1	0	9
11 月	2	4	1	1	8	0	16
12 月	1	4	1	1	1	0	8
1 月	2	3	1	1	2	0	9
2 月	2	3	1	1	0	0	7
3 月	0	4	1	1	0	3	9
計	19	44	12	11	24	7	117

７－４．居宅介護支援事業所

平成 30 年度は 4 月以降、常勤 2 名体制で事業を行なった。

今年度もそれぞれ事情をお持ちで在宅生活をされている方の相談をお受けした。急遽支援が必要になった方や病状悪化の方を担当することが多い状況が続いている。

まずは、じっくりとご本人やご家族の話をお聴きすることで、不安を共に背負い、これから起こる状況を予測しつつ、その状況に備えて、必要な手立てを整える為に努力してきた。

地域住民やサービス事業所、地域包括支援センター、行政と共に利用者の支援を行なっていく事がさらに重要となってきている。

(1) 実績

月	職員数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4 月	2	1	6	28	15	6	4	8	68
5 月	2	1	6	27	13	7	4	8	66
6 月	2	1	6	31	12	9	6	7	72
7 月	2	2	6	30	13	6	5	5	59
8 月	2	1	7	32	13	6	3	4	66
9 月	2	2	7	30	13	6	4	5	67
10 月	2	2	7	30	14	6	5	6	70
11 月	2	2	7	29	13	6	5	6	68
12 月	2	2	7	29	12	7	3	5	65
1 月	2	2	7	32	12	7	3	6	69
2 月	2	2	7	31	14	6	3	7	70
3 月	2	2	7	31	13	7	4	5	69
計	24	20	80	360	157	79	49	72	809

（2）登録者状況（平成 31 年 3 月 31 日時点）

｜登録者数

性別	予防給付	介護給付	計
男性	4	16	20
女性	5	47	52
計	9	63	72

｜登録者世帯状況

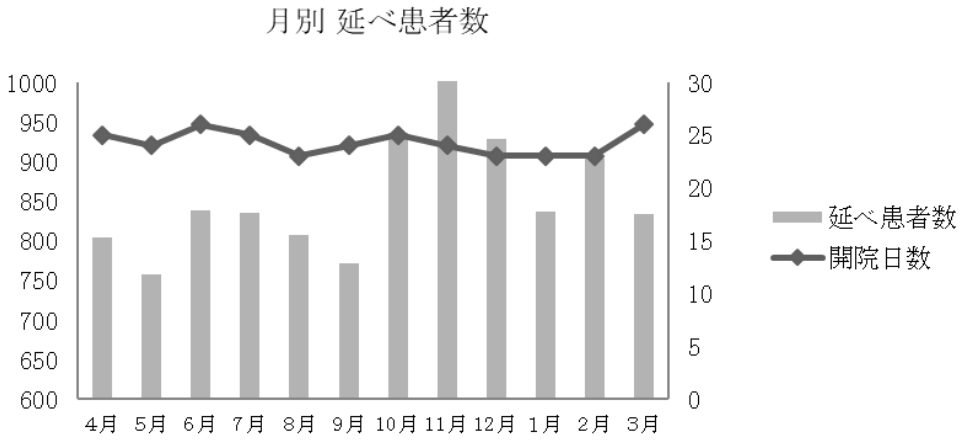
世帯	人数
独居	16
夫婦	16
子ども世帯同居	38
他親族同居	2
計	72

７－５．淑徳おゆみ診療所

平成 30 年度の新患登録数は 421 名であった。入居者ご家族や近隣の方々のご利用だけでなく、泌尿器科を求めて遠方より来て下さる方も多くなってきている。

実績報告

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開院日数			24	24	26	25	23	23	26	24	23	23	23	25	289
延べ患者数			768	797	805	826	831	749	1,045	1,195	993	885	828	769	10,491
	内健診（入居者含む）		96	39	113	36	41	27	205	457	219	26	124	45	1,428
	内入居者	診察	63	75	61	65	143	101	70	69	63	62	58	77	907
		処方	227	262	219	268	242	239	290	211	239	226	237	193	2,853



主な出来事

4 月	入居者定期健康診断
5 月	保育園・幼稚園児健康診断
6 月	職員健康診断
7 月	大巌寺幼稚園職員健康診断
8 月	慈光保育園職員健康診断
11 月～12 月	インフルエンザ予防接種
12 月	職員健康診断（夜勤者）
4 月～翌年 3 月	肺炎球菌予防接種（定期接種・市独自事業）
5 月～翌年 2 月	千葉市特定健診・がん検診
他	淑徳大学実習前健診・慈光保育園特定健診

７−６．千葉市あんしんケアセンター松ケ丘

平成３０年度は中央４圏域を受託して２年目となる。広域地域を２つの事務所を拠点に努めさせていただいた。圏域内人口 67,425 人、高齢者人口 16,034 人、高齢化率 23.78%で高齢化率が微増している。高齢化が進む中、今年度も『地域包括ケアシステムの構築』に向けて柱となる多職種協働による連携体制作りに取り組んだ。

地区社協、連協、民生委員と連携し地域ケア会議を開催した。また、多職種連携会議にも参加・開催をした。自主活動組織の立上げ支援など積極的、柔軟に連携体制強化促進に努めた。

認知症、虐待事例、精神疾患、経済困窮、要介護者の家族への支援など様々な課題を抱えた地域住民の相談に対応し、医療、介護、住まい及び生活支援サービスを継続して提供できる地域のネットワークづくりに重点をおき、行政機関、サービス提供事業者等とも連携しながら支援に努め、多くの相談をいただいている。

総合相談支援業務・権利擁護業務について

まず、総合相談支援業務として今年度も多くの相談をいただいた。相談経路として、親族、民生委員、医療機関、行政からの相談が多かった。相談内容として、これまでの傾向と同様、介護保険制度・サービスに関することが多く、申請代行、退院後の生活支援も多数携わらせていただいた。認知症に関る相談も多く、医療機関との連携、認知症初期集中支援チームへの会議参加をしてきた。認知症の方とその家族への支援として認知症ケアパスを活用した。圏域内の４つの中学校の１年生を対象とした認知症キッズサポーター養成講座は３年目となっている。認知症徘徊者声かけ訓練にも中学生が参加くださり、若い頃から認知症について考え、地域で支えていくという礎を築いている。また、ご利用者自身または家族が精神疾患のある方からの相談も多く、複合的な問題を有する方の生活支援が増加している。経済的困窮者に対しても行政機関との連携を密にして対応に取り組んできた。町会自治会連絡協議会、社会福祉協議会地区部会、民生児童委員協議会等、地域の方との連携において、地域ケア会議開催、多職種連携会議開催など協働の機会を多く持つことで信頼関係の構築、互いの立場の理解を深めることができた。相談は受付票、支援経過に記録し、状況に応じて実態把

握、訪問等対応に努めた。台帳をもとに月１回の会議を開催し、計画的支援と状況に合わせた迅速な対応を行った。

｜　権利擁護について

権利擁護については、総合相談でのスクリーニング、消費者被害や成年後見制度についての講座を開催し、制度の普及啓発に努めた。虐待に関する相談も多く、行政や介護支援専門員等と連携しながら対応させていただいている。成年後見制度の利用に向けての相談も多くなっている。センター内での情報共有やカンファレンス、地域包括ケア推進課への相談、高齢障害支援課と連携を密にとり対応をした。

｜　包括的・継続的ケアマネジメント業務について

中央区５センター合同でケアマネジメントに資する研修会を２回、事例検討会を１回開催した。中央区主任ケアマネ連絡会の隔月開催において、介護支援専門員の資質向上・レベルアップのための取り組みの班編成を行い日々の業務に役立てていただけるよう試行錯誤している。圏域内では事例検討会を２回開催、研修会を１回開催した。また居宅介護支援事業所訪問を行い介護支援専門員からの意見を求め、質問に対応じ、今後のケアマネジャーの資質向上に向けて活かすべく努めている。地域の介護支援専門員の支援対応として介護支援専門員と共に考え、センター内、行政等連携しながら支援させていただいた。

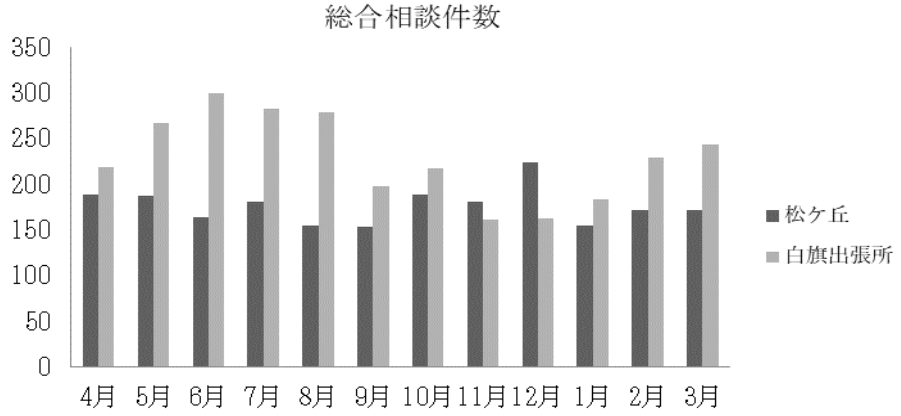
｜　介護予防マネジメント・介護予防支援

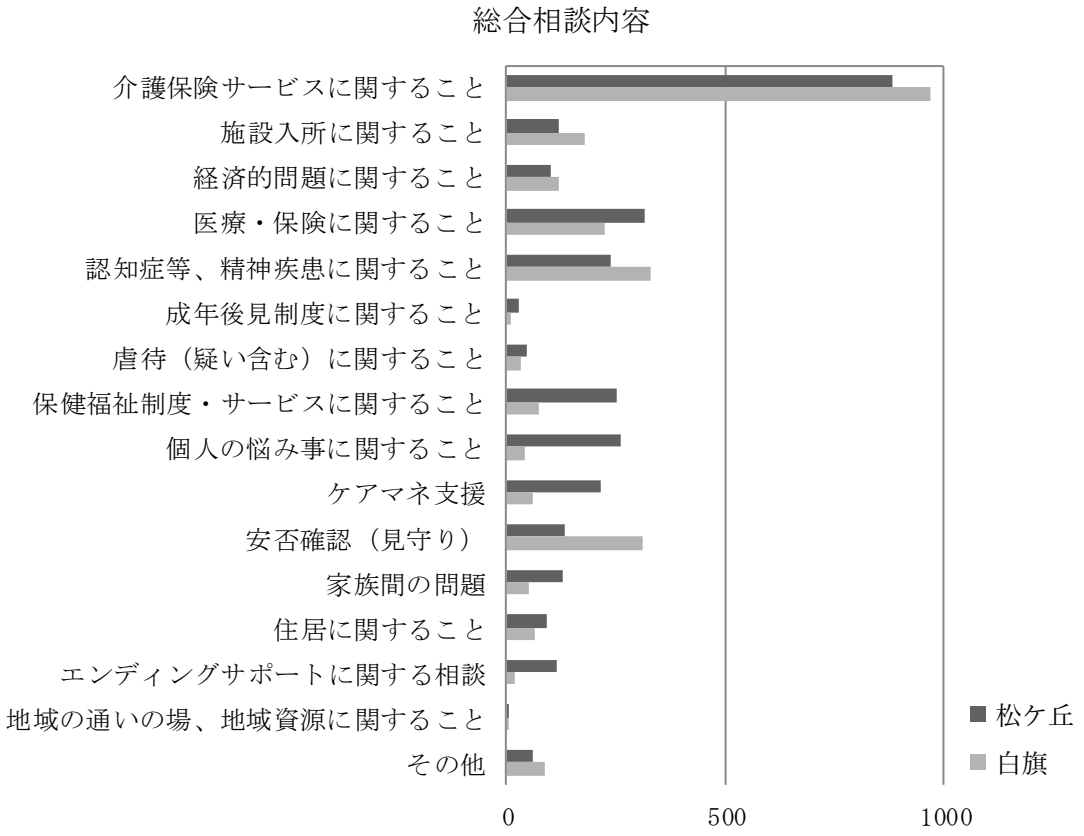
要介護状態になるリスクがあると思われる方に対し、アセスメント（課題の分析）や基本チェックリスト等による状態の把握を行い、個別の状況に合わせ、介護予防ケアプランの作成をするなどして、住民主体の通いの場やその他のインフォーマルサービス等の利用に向けた支援を行った

総合相談件数・内容

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
松ケ丘	189	187	164	181	155	153	189	180	224	155	171	171	2,119
白旗	218	267	299	283	278	198	217	161	162	183	229	243	2,738

相談内容	松ケ丘	白旗
介護保険サービスに関すること	883	973
施設入所に関すること	120	180
経済的問題に関すること	101	118
医療・保険に関すること	317	225
認知症等、精神疾患に関すること	236	331
成年後見制度に関すること	27	8
虐待（疑い含む）に関すること	45	34
保健福祉制度・サービスに関すること	254	74
個人の悩み事に関すること	259	41
ケアマネ支援	215	58
安否確認（見守り）	131	311
家族間の問題	128	52
住居に関すること	92	62
エンディングサポートに関する相談	116	19
地域の通いの場、地域資源に関すること	4	2
その他	58	87
計	2,986	2,575





｜ 契約数

30年度			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
契約数	松ケ丘	直営(予防)	55	57	55	56	56	62	60	64	64	60	65	68	722
	白旗	直営(予防)	51	50	54	55	58	56	59	60	62	64	61	63	693
	委託(予防)		168	157	159	172	182	155	166	166	168	161	158	156	1,968
	総数		274	264	268	283	296	273	285	290	294	285	284	287	3,383
	松ケ丘	直営 (A)	49	50	47	51	53	44	58	54	99	53	53	54	665
	白旗	直営 (A)	38	39	36	39	38	43	45	49	47	47	50	45	516
	委託(A)		118	114	122	127	133	123	121	130	126	120	119	115	1,468
	総数		205	203	205	217	224	210	224	233	272	220	222	214	2,649

介護予防活動		年間開催回数 延参加人数
白旗町１丁目 いこいの場	毎月１回 千葉市健康課と協同で、白旗１丁目にお住まいの高齢者の方を対象としている。血圧測定、健康維持や介護分野に役立つ講座やレクリエーションを実施している。 	10 回 138 名
シニアリーダー体操教室	介護予防を推進するシニアリーダーが、地域で高齢者向けの体操教室を開催する。圏域内には１０カ所の教室が出来ている。ボランティアの協力とあんしんケアセンターでは教室開催のお手伝いをしている。	
南町団地 うきうきスクール	2 か月に 1 回 千葉市健康課と共同で市営住宅南町団地および南町 3 丁目にお住まいの高齢者の方を対象に行っている。血圧測定、体調の確認や健康についてのお話、音楽療法や落語、クラフトを行っている。高齢者が多い南町団地の課題を速やかに組み上げられるようにしている。 	5 回 44 名
松ケ丘おさんぽクラブ	第 2・4 月曜日 10 時～12 時 松ヶ丘公民館を出発して一時間程度かけてお散歩を行う。あんしんケアセンターの関わりとしては、散歩前の血圧・握力測定を行いながら健康状態や日常生活の様子を聴いたり、アドバイスをしたりしている。	17 回 239 名
ラジオ体操 ・小塚台公園 ・白旗公園	小塚台公園：毎週木曜日　　白旗公園：毎週金曜日 体を動かすことで、介護予防を行うと同時に、地域の集まりの場の提供や、民生委員さんの参加もあり、近隣にお住いの課題を抱えた方を速やかに発見、相談の場ともなっている。また、スタンプカードを配布し、年度末には景品をご用意させていただき、多くの方に来ていただけるように工夫をしている。年に一度の体力測定を実施し、ご自分の体の状態に関心を持っていただくよう働きかけている。	2,261 名

仁戸名町さくら会	第 1・3 金曜日 10 時～12 時 さくら会館で活動。会の運営はサークルの方が行い、あんしんケアセンターは脳トレの準備、健康に関すること、地域で参加できる活動の場の情報提供、いきいき 100 歳体操を一緒に行っている。 	17 回 347 名
星久喜町南部町カフェ	月 1 回　第 3 木曜日　10 時～12 時 星久喜町南部会館で講座、健康体操はいきいきプラザ千葉中央の介護予防指導員が講師役となり行っている。ミニ講座は毎回テーマごとに各専門職の方に依頼し開催している。 	11 回 172 名
自主活動 （生き生き百歳体操）	毎週火曜日　10 時～ あんしんケアセンター松ケ丘 白旗出張所では、事務所の近隣の住民の方に一部開放し、いきいき百歳体操を行っている。	12 回 245 名
クラフト教室	松ケ丘：毎月第 4 水曜　白旗出張所：毎月第 4 木曜 クラフトを製作することで達成感を得て楽しい時間を過ごしていただく。おしゃべりを楽しみ、地域の皆様が継続して参加できる場や交流の機会、閉じこもりの予防となっている。	24 回 235 名
淑徳オレンジカフェ	月 1 回　第 1 土曜日 淑徳大学看護栄養学部とひだまり運営委員会が中心となり地域の認知症の方やそのご家族の地域交流の場として認知症カフェを開いている。あんしんケアセンターも参加・協力している。	
認知症サポーター 養成講座	地域の方：24 名　地域のグループ（2 回）：17 名 企業（2 回）：27 名　民生児童委員：27 名 圏域内 4 中学校 1 年生対象	10 回 661 名
認知症初期集中支援 チーム（会議）	認知症の方と認知症の疑いのある方への支援として専門職が自立支援のサポートをチームで検討・対応する。	11 回

認知症徘徊 声掛け模擬訓練	「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」認知症徘徊模擬訓練を実施した。 ・松ケ丘地域：平成 30 年 10 月 9 日実施 松ヶ丘中学生１４名参加 『どこシル伝言版』の普及に努めた。 ・蘇我地域：平成 10 年 10 月 2 日実施 蘇我中学校 15 名参加 コンビニエンスストアやスーパー、警察の協力を得て声掛け訓練、認知症の方への対応について普及啓発を行った。今回もサービス提供事業者、民生委員、社会福祉協議会等多くの方の参加・協力を得て行う事ができた。 	130 名
地域ケア会議	松ケ丘：個別課題 3 回開催 白旗出張所：個別課題 3 回開催 地域課題 7 回開催 地域の実情にそって、地域資源をどのように構築していくべきか、課題を把握し、解決手段を導き出すため、多職種で話し合う場を設け、問題解決にあたっている。	13 回
多職種連携会議	平成 30 年はジェイコー千葉病院のご厚意で会場を提供いただき、開催した。 テーマを『顔の見える関係から役割の分かる関係へ』とし、医師、歯科医師をはじめ、各職能団体、地域団体より多くご出席いただき、活発な意見交換を行う事ができた。 	90 名
いきいきサロン	千葉市健康課が主体となって健康についての講座を開く。	7 回 142 名
研修会開催	中央区 5 センター共同研修会 2 回　事例検討会 1 回 圏域内事例検討会 2 回　研修会 1 回 研修会虐待対応研修 1 回	7 回 294 名

出前講座	蘇我いきいきセンター【エンディングサポート】 ロイヤルコート【エンディングサポートー】 蘇我いきいきセンター【消費生活センター】 蘇我いきいきセンター【成年後見制度】 南町長寿会【認知症について】 宮崎公民館【あんしんケアセンター活用法】 南町長寿会【お口の健康】 白旗さくら会【脳トレ棒体操】 花輪町会館【脳トレ　あんしんケアセンター活用法】 七夕祭り【認知症・糖尿病クイズ】 長寿会【高齢者の栄養】 南部青少年会館【体力測定】 白旗会館【体力測定】 老人クラブ定例会【介護保険・リビングウィル】 そがいきいきセンター【介護保険・介護予防】 白旗町内会敬老会【介護保険】 南町団地【見守り活動について】 長寿会【まちかどお薬相談会】 淑徳看護栄養学部【地域包括支援センターの活動の実際について】 弥生が丘健康サークル【あんしんケアセンターの活動からみえる地域課題】	20 回 682 名
研修会開催	中央区 5 センター共同研修会 2 回　事例検討会 1 回 圏域内事例検討会 2 回　研修会 1 回 研修会虐待対応研修 1 回	7 回 294 名

千葉市生活支援コーディネーター

平成 30 年度より、千葉市内で中央区のみモデル区として第 2 層生活支援コーディネーターが配置され、淑徳福祉会があんしんケアセンターと同じ松ケ丘圏域を受諾する。担当地域は蘇我、白旗、川戸、松ケ丘、星久喜といった広域に渡り、高齢者を対象とした生活支援体制(生活支援と介護予防)の基盤整備を進めていくことをその目的とする。配置一年目となる当該年度は、地域と顔の見える関係づくりの構築を目指し、生活支援コーディネーターの役割と高齢者に対する日常の生活支援を含めた活動の必要性について周知した。

(1) 生活支援・介護予防サービスに関する業務

① 生活支援・介護予防サービスの提供状況の把握

第 1 層生活支援コーディネーターより圏域内の情報を引継ぎ、既存ものと新規で判明した団体、活動全てを訪問し、地域資源調査を実施する。その情報は公開希望しないものを除き、介護情報公表システム上に掲載され、サービスを希望する者や居宅介護支援事業所が閲覧できる環境となっている。また、千葉市の一般介護予防事業で育成されたシニアリーダー(以下 SL)が開催する SL 体操は、圏域内 10 か所、千葉市内でもトップクラスの開催を誇る。生活支援コーディネーター作成の「地域ともいき通信」上で SL 体操に関する情報を掲載するとともに全町内自治会に回覧を依頼、住民への周知に努める。

「地域ともいき通信」

② 生活支援・介護予防サービスの創出

各関係機関と連携し、絆カフェ【フラット】、白旗団地自治会「ちばしいきいき体操」、大森町向台自治会「ラジオ体操」、計 3 団体の地域資源創出に関わる。その他にも地域資源創出を目指し、小規模多機能施設「木もれ陽の郷」や介護付き有料老人ホーム「そんぽの家蘇我」と地域貢献について協議を継続中である。

③ 支援ニーズの把握

地域アセスメントシートに沿って自治会単位でヒアリングを実施、また、あんしんケアセンターと協働し、高齢化率の高い南町団地の実情把握を進める。

④ 担い手の養成

千葉市いきいきプラザ千葉中央のいきがい活動支援事業や南町団地うきうきスクール、南町共栄長寿会の計 3 カ所で「地域の支え合い」をテーマとした出前講座を開催。

（２）ネットワークの構築

①　あんしんケアセンターとの連携

あんしんケアセンターと定期的に話合う機会を持ち、地域における情報共有や連携を図る。社会福祉士や看護師とは地域の活動団体、主任介護支援専門員は居宅介護支援事業所を一緒に訪問する。

②　市や社協、関係機関・団体との連携

毎月の生活支援コーディネーター定例会に参加し、千葉市や他の生活支援コーディネーターと情報共有、連携を図る。また、社協中央区事務所をはじめとする各関係機関や地域団体と圏域内の地域支援事業に関して情報共有、連携を図る。

（３）協議体設置に向けた取組み

各地域の地域運営委員会や地域ケア会議（星久喜、松ケ丘、白旗台１丁目）等にあんしんケアセンターとともに参加する。また、南町団地自治会において地域資源創出のための協議体となる住民懇談会を開催する。

出前講座

住民懇談会

７－７．栄養

平成 30 年度は、多職種による会議・カンファレンス等をもとに生活全体を含めた栄養ケアマネジメントを実施し、栄養状態の改善・維持を目指した。ご家族様や他職種と情報を共有することで、入居者様にとってより良いケアについて考え取り組むことができた。

また、食事に関するレクリエーションは担当職員と協力をして内容にも工夫を凝らし、前年度より充実したものを行うことができた。今年度は 100 歳を迎える入居者様が多く、時にはご家族様も交えてお祝いをすることが出来た。

前年度に引き続き、淑徳大学看護栄養学部の臨地実習を引き受けた。前年度の反省を活かし、学生が実習を通しより多くのことを学び、感じてもらえるよう指導を行った。

｜栄養管理状況

形態等	エネルギー (kcal)	タンパク質 (g)	脂質 (g)	炭水化物 (g)	塩分相当量 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	VA (μgRE)	VC (mg)
常食（米飯）	1,650	65.0	44.0	248.0	8.3	650	7.0	700	100
常食（全粥）	1,500	59.3	40.0	225.4	8.3	650	7.0	700	100
食事摂取基準	1,650	63.0	45.0	248.0	8.3	650	7.0	700	100

食事摂取基準は日本人の食事摂取基準（2015 年版）をもとに、淑徳共生苑特別養護老人ホームに入所されている利用者の年齢・性別・身体レベルから算定。

｜栄養摂取状況

月	エネルギー (kcal)	タンパク質 (g)	脂質 (g)	炭水化物 (g)	塩分相当量 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	VA (μgRE)	VC (mg)
4 月	1640	59.2	45.4	240.7	8.5	519	6.7	711	100
5 月	1652	58.3	46.4	242.7	8.7	527	6.6	718	98
6 月	1622	58.6	44.7	239.3	8.9	508	6.6	645	100
7 月	1640	57.2	46.3	241.3	9	515	6.1	661	106
8 月	1639	57.1	47.7	238	9.1	503	5.9	610	100
9 月	1651	57.1	48.3	239.4	8.8	506	6.4	695	98
10 月	1652	57.2	46.7	242.4	8.6	503	6.1	645	103
11 月	1666	57.8	47	245	8.6	502	6.5	666	103
12 月	1659	57.7	46.4	244.3	8.7	501	6	677	95

1月	1653	57.7	45.9	243.5	8.6	491	5.9	651	99
2月	1636	56.7	46.8	239.8	8.5	502	6.1	687	103
3月	1647	57.4	46.7	241.9	8.5	515	6.2	719	106
計	19757	692	558.3	2898.3	104.5	6092	75.1	8085	1211
平均	1646	57.7	46.5	241.5	8.7	508	6.3	674	101

禁食一覧

主食類	魚・肉類	野菜・果物類	その他
・麺 4 ・赤飯 1 ・カレー 5	・魚 1 ・鯖 1 ・ほっけ 等 1 ・ツナ 2 ・肉 3 ・納豆 10	・なす 2 ・青菜 1 ・春菊・山菜・レンコン・竹の子 1 ・おくら 2 ・揚げ物 2	・温泉卵 2 ・とろろ 3 ・ヨーグルト 2 ・きのこ 1 ・餃子 1 ・りんご 1

行事献立実施状況

月	日	内容
4月	16日	おやつレク（フルーツサンド）
	18日	昼食レク（おにぎり）
	27日	降誕会行事食（竹の子ごはん・魚の煮付け・茶碗蒸し）
5月	5日	端午の節句（太巻き・天ぷら・ようかん）
	7日	昼食レク（母の日バイキング）
	10日	おやつレク（デザートバイキング）
6月	7日	父の日レク(居酒屋)
	12日	おやつレク(あんみつ)
7月	6日	盂蘭盆会行事食(稲荷ずし・天ぷら)
	17日	昼食レク（そうめん）
	22日	納涼祭(焼きそば・焼き鳥・フルーツゼリー)
8月	21日	昼食レク(そうめん)
	31日	おやつレク(アイスクリーム)
9月	13日	おやつレク(どら焼き)
	17日	敬老会行事食(赤飯・天ぷら盛り合わせ・かつおのたたき)
10月	4日	おやつレク(お好み焼き)
	26日	昼食レク(おにぎり)
11月	29日	昼食レク(餃子・チャーハン)
12月	7日	成道会行事食(まぐろの刺身・天ぷら盛り合わせ・茶碗蒸し)

	25 日	クリスマスメニュー(エビピラフ・フライ 2 種・ケーキ)
	26 日	もちつき
	31 日	年越しそば
1 月	1 日	おせち(赤飯・おせち料理盛り合わせ)
	7 日	七草粥
	18 日	昼食レク（お誕生日会）
2 月	1 日	涅槃会(ちらし寿司・赤魚の粕漬け焼き・いちご)
	3 日	節分料理(いわしのフライ・五目煮豆)
	19 日	昼食レク（お誕生日会）
3 月	4 日	桃の節句行事食(ちらし寿司・天ぷら・ようかん)
	26 日	おやつレク（お誕生日会）

桃の節句（ちらし寿司）

バレンタインパーティー

昼食レク（巻き寿司作り）

８．各委員会・部会活動報告

各種委員会を設置し、他事業も含めた全職員が参加して、改善すべき課題について検討を重ね、必要に応じて内部研修等を行った。

入所判定委員会（随時）

入所判定委員会は施設長・事務長・生活相談員・看護師・介護支援専門員で構成されており定期的（2 か月に 1 回程度）または随時を含め年間 10 回開催した。

- 今年度は入所 21 名、退所 20 名（看取り 11 名）と例年にない人数であったことを踏まえスムーズな入所ができるように体制を整えるべきであった。
- 入所申込み台帳を整備し、これに基づき現時点で看取り介護を希望している入居者と入院者も含め入所の優先順位の検討を行った。
- 入所申込み者名簿の作成を行った。

リスクマネジメント委員会（随時）

感染症対策委員会（毎月第 3 火曜）

平成 30 年度のインフルエンザは例年より早い時期にインフルエンザの流行の兆しがみられた。今シーズンは 2 種類のインフルエンザＡ型のウイルスがほぼ半々の割合で流行となった。なお、例年、Ａ型の後を追うようにＢ型も流行する傾向が見られるため、理論上はＡ型に 2 度感染したうえ、さらにＢ型にも感染する恐れがあった。また、隠れインフルエンザの存在がさらなるインフルエンザ患者の増加につながる危険性もあった。また空気が例年以上に乾燥しており、湿度を上げるために加湿器をはじめ、色々と工夫をしたが湿度が中々上がらず、理想的な湿度の 50～60％には及ばなかった。

インフルエンザの予防接種をはじめ、基本的な手洗い・うがい、マスク着用を強化していた中、1 月下旬あたりからインフルエンザが発症した。

- 入居者様　3 名　（河川 1 名・秀峰 1 名・野原 1 名）
- 職員　9 名　（ユニット職員 7 名・あんしんケアセンター職員 2 名）

職員 1 名がインフルエンザＢ型、その他 11 名がインフルエンザＡ型を発症。
治療はタミフルもしくは新薬のゾフルーザを内服した。

また、感染者が発生したユニットの入居者様、職員は予防内服としてタミフルを内服もしくは予防吸入としてイナビルを吸入した。

施設としての対応は以下の通り。

- 出勤前・出勤後の職員の検温
- 出勤前に発熱、頭痛、咽頭痛等がある場合は出勤せず、介護長・看護師より指示を仰ぐ。
- 勤務中に体調不良を感じた場合は速やかに作業室で待機をし、介護長・看護師より指示を仰ぐ。
- 職員の家族等でインフルエンザを発症した場合は出勤せず、介護長・看護師より指示を仰ぐ。
- 面会時は面会者の検温とご家族等に感染者がいないかを確認する。体温が 37℃以上、ご家族等に感染者がいる場合面会はご遠慮していただく。
- 面会者の手洗い、うがいも徹底する。
- 感染者が発症した場合は面会の制限、行事・レク・個浴以外の入浴中止、理美容、デンタル見合わせ　研修・勉強会は延期とした

また予防策として以下の体制をとった。

- 手洗い（手指消毒)・うがい・正しいマスクの着用の徹底
- 体調管理：睡眠を十分にとる。規則的な生活。栄養バランスの整った食事。
  疲れをためない。
- 生活環境：ストレスをためない。湿度(50～60%)　加湿器以外でも工夫。
  人混みを避け外出する。
- 換気をする（午前・午後 15 分程度）
- ルビスタで消毒
- マニュアル　各々再確認

効果のある感染予防や防止が出来るようになるには、正しい知識と知識に基づいた対策を確実に実践する必要があるため、マニュアルを見直し、理解しやすい新たなマニュアルを作成した。

また、必要な情報はポスターにし、苑全体で共有した。

感染症対策委員会も必要時に応じて開催し感染防止に努めた。

身体拘束廃止委員会（毎月第１水曜）

今年度は、リーダー・サブリーダー・他職種との連携を密にとり、苑として身体拘束の廃止を取り組むことができた。身体拘束を行っているケースは、1ケースごと丁寧に見直しを行った。拘束することに対してご家族希望が強いケースが多く、身体拘束についてのご家族への理解は、今後の課題となる。部分的（時間）な解除を実施して、完全に身体拘束の解除ができたケースもあった。今年度は、1名減少して3名となった。

転倒抑止・徘徊察知目的のセンサー使用者は昨年度から1名の減少となっているが、相変わらず多い状況である。引き続き下肢筋力低下が原因で、立位や歩行が不安定になり転倒するケースが後を絶たないことから、いち早く動きを察知し、事故を未然に防ぐ対応を行っている。使用の際には、その方の行動抑制になる使用は厳禁とのルールを作り実施している。

センサー使用については、日々の使用状況を詳細に把握するよう記録を用いることで、解除に繋がるようになってきた。会議にて情報共有を徹底し、今後も解除に向けて努めていく。　引き続きスタッフ全員が、苑での身体拘束の現状と取り組みを認識できるように情報を共有化に努めていく。

事故防止委員会（第４火曜日）

各部署からのヒヤリハット・事故報告を基に、予防・対応策の検討を行った。

- ヒヤリハット報告の意識も定着してきており、ユニット内での情報共有ツールとして活用できたように感じる。記録するケースを手間としないよう、小さな気付きでも書くことを習慣としていく。
- 事例検討にて意見交換を行いながら、対策を考え実施しフィードバックすることで意識を高めることができた。
- 今年度も転倒・骨折などの事故が多く見られた。中にはユニット内の物品による事故もあり、ハード面の見直しも検討する必要がある。
- 転倒・転落等が多い状況だが、誤薬などの人為的ミスも続いているので、その都度原因を調査し改善策を検討していく。
- 相変わらずセンサー等を使用する入居者が増えている状況。センサー頼りにならないよう、見守りや巡視の工夫とセンサーの鳴動による入居者様のストレス

などにも配慮していく必要がある。身体拘束廃止委員会との情報共有・連携を図っていく。

・ 事故については委員会内で内容と対応・対策について報告し情報共有を行う。同様の事故を未然に防げるように周知していく。ヒヤリハットの情報をユニット会議などで活用し、ユニット職員が同じ視点で事故防止に取り組めるようにしていく。小さな気付きでもそのまま見過ごすことのないよう、記録に残していく。

教育・研修委員会（毎月第１水曜）

・ 苑内・苑外研修会は火曜日 16：30～17：30 の日時、おゆみホールを開催場所とし実施した。

・ 年度初めに施設長による「援助者としての基本姿勢～専門職の行動と価値観を育む」の研修会でスタートした。

・ 新任職員や現職員の技術面の再確認として恒例ではあるが基礎介護技術（食事・排泄・入浴）についてユニットリーダー・サブリーダーを講師として講義・実践を交えて年間３回行った。

・ 必須研修の「食中毒について」、「事故防止対策について」、「感染症（インフルエンザ／ノロウイルス）～知っておくべき基本の話」、「権利擁護／虐待について」、「身体拘束廃止について（2 回)」など各部署・委員長・外部講師による研修を実施した。

・ 外部講師による「リハビリレクについて」、「オムツについて」、「ハンドタッチケア～職員向け（2 回)」、「水分補給（脱水症状）について」、「低栄養の栄養管理」、「マナー研修」、「介護用品について」、「普通救命講習」、「介護における口腔ケアの重要性と効率的なやり方」、「褥瘡の予防：座位のシーテイング」、「入浴に潜む危険性・対策（介護用品について)」など幅広く職員が受講したいと希望する研修を取り入れ実施した結果、全体的には多くの職員に高齢者福祉施設に勤務するための必要な基礎的知識・技術の習熟を図ることができたのではないかと思われる。

・ EPA 介護福祉士候補１期生であるグエンティハンさんにより「ベトナムについての紹介研修を実施した。

・　法人内での利用者状況や運営状況を知るためにあんしん・デイ交換研修を実施した。
・　苑外研修者発表として「新人（新任）職員福祉入門講座」「関東ブロック老人福祉施設研究総会」「権利擁護・身体拘束廃止」に参加者 4 人の発表をした。
・　年度末に参加回数を集計し上位者を表彰することにより、さらなる研修への関心や向上心など参加意欲に繋がるように努めた。

給食委員会（毎月第 4 水曜）

日々の給食やレクリエーションについて協議することを目的に、毎月 1 回委員会を開催した。厨房職員を含めた多職種で、意見交換や食事に関する情報共有を行い、レクリエーションや献立の改善を目指した。委員会以外の場でも日頃からスタッフや入居者様とコミュニケーションをとり、より多くの意見を取り入れられる様に努めた。次年度も引き続き、利用者のリクエストを取り入れた食事や季節感のある献立作成に取り組んでいく。

排泄・褥瘡委員会

現在、施設において褥瘡のある入居者は 0 名である。褥瘡のリスクがあるかその他原因によるものかの評価をし、対応の方法をそれぞれに検討し、皮膚のトラブルについては医師診断のもと、適した処置材料を選択し、処置にあたり必要時は、写真保存を行い他職種と情報共有を行った。重症化による臥床時間の長期化に対しては、ベッド上や車椅子での耐圧測定やマットの評価を行い、褥瘡リスクとなる原因の除去に努めた。また、ユニットスタッフとの連携により、情報交換・処置の協力体制などを円滑に行っていった。

皮膚トラブルの中で特に多いのが、便の回数や症状(下痢)によるただれが原因となり、表皮剥離となるケースであった。医師と相談の上、排便コントロールを積極的に行い、併せて適切な軟膏の処置を早期に始めることで悪化を予防していくことができた。

排泄委員会では、排泄ケアに必要な物品の購入を各ユニットのニーズに合わせて行った。

褥瘡委員会と連携し、排泄パターンのアセスメントや下剤に頼らない排便コントロー

ルの確立に努めていきたい。

行事委員会（毎月第１水曜）

今年度も年４回の宗教行事を中心に、季節毎に恒例となった行事を滞りなく　　開催することができた。宗教行事と合わせて披露されるアトラクションも地域の　ボランティアの方々が様々な披露をしてくださった。春のお花見に始まる共生苑の年間行事は、大巌寺の桜を見て巡り、夏の一大イベントである納涼祭は天候にも恵まれ、当日プログラムに若干の変更があったものの盛大に開催することができた。今年度もグラウンドでの開催で飛翠迅様のよさこい演舞、紅嶽太鼓様による和太鼓披露と、入居者との距離も近くとても有意義な時間であった。秋には敬老会を行い、入居者様、ご家族、職員が多くの催し物に参加し、今年も賑やかな行事となった。年末には恒例の餅つき会が行われ、今年度もおゆみホールでの餅つきとなり新年を迎える準備を入居者様の方々とご家族様を交えて皆様で楽しむことができた。

大きな行事だけでなく、毎月の書道クラブや法話会を行う上で、実習生や家族会の皆様、地域ボランティアの皆様の協力が欠かせない存在となっており、誘導や見守りのお手伝いや、会場の設営などにもご協力いただいている。

今後もボランティアの方々、ご家族様、また地域の皆様の協力を得て、入居者様のQOL向上を目指し楽しい行事を企画・実施していきたい。

降誕会

納涼祭

餅つき会

敬老会

広報委員会（毎月第 2 火曜）

第 41 号を 5 月、第 42 号を 8 月、第 43 号を 11 月、第 44 号を 2 月に発行した。季節ごとの各事業所の様子が皆様に伝わる誌面づくりに努めた。苑内行事の写真撮影、ポスター掲示も例年通り行った。

リーダー会議（毎月第 1 水曜）

毎月、月初め、月末と各ユニットのリーダー・サブリーダーと各職種で、ケアの見直しや苑全体としての情報共有、各職種との意見交換を行った。今年度は、新しいサブリーダーが 2 名加わった。年度末あたりに、ユニット全体の勤務形態の見直しを行い次年度も取り組んでいく。

次年度はリーダー・サブリーダーそれぞれが、リーダーとしての自覚・役割の認識を強く持てるようにする。各ユニットが働きやすい職場となるように、また個別ケアを円滑に行えるように業務の見直し等を行っていく。

記録部会（毎月リーダー会議時に実施）

リネン業者の変更により、洗濯の出し方・記録の仕方・リネンの使用量の把握の仕方など、リネン部会を中心に話し合いを重ねて適切にリネンの取り扱いができていた。定期的に褥瘡予防マット等の使用状況や保管場所などの把握を行い管理体制を維持していた。コスト削減への意識は、次年度以降も課題といえる。

リネン部会（毎月リーダー会議時に実施）

掛け布団の年次交換を適切な時に実施することができた。「ベッドマット・枕・ベッドパット」の洗濯依頼方法についての見直しを行った。褥瘡予防マット等の使用状況や保管場所なども見直し、適切に使用できるようにした。コスト削減への意識は、次年度以降も課題といえる。

入浴部会（毎月リーダー会議時に実施）

各浴槽の故障については随時、修理・交換を行い、入居者様が快適に入浴できるように努めた。今後も、入浴環境の故障や不備に関しての報告連絡の徹底を図りたい。季節によって菖蒲湯・柚子湯など入居者様に入浴を楽しんでもらえた。次年度は機械

浴の各ユニットの入浴日を見直す。

レク部会（毎月リーダー会議時に実施）

今年度は合同レクの活動にて、外出や外気に触れる機会を持つことができた。他職種の協力のもとまたユニット合同で、サイフォンを利用して居酒屋などのレクリエーションを行い入居者様にとって良い時間を提供できた。次年度も利用者のニーズに沿えるように対応していきたい。

村田川にて鯉のぼり鑑賞

お茶会

花火レク

風船バレー

9. 防災対策報告

消防訓練については、例年通り各部署ごとに初期消火訓練・通報訓練・避難誘導訓練を中心に行った。自然災害に備え、地域の防災拠点として重要な役割も担っていくため、あんしんケアセンターと各福祉事業所を中心に自治会・社協等地域組織と連携し、非常時に機能するよう備えを検討していく必要がある。職員各自が日頃から防災意識を高め、生浜地区・生実町内会との連携を進めていきたい。

防災実績

月	時間	訓練	内容
毎月 1 回	適宜	消防用設備自主点検	1. 消火器 2. 消火栓 3. スプリンクラー4. 自動火災報知機 5. 放送設備 6. 非常ベル 7. 誘導灯 8. 建物等の自主検査
9 月 6 日 2 月 8 日	定期	消防設備法定点検の実施	1. 消火器 2. スプリンクラー3. 自動火災報知機 4. 消防署通報システム（非常通報電話）5. 非常警報器具及び設備 6. 誘導灯及び誘導標識 7. 非常発電設備など
5 月 17 日	14：00 ～ 14：20	総合訓練	デイサービスにおいて火災時における役割分担等を確認するとともに施設内にある消火器を使用して初期消火訓練、放送設備での非常放送、避難誘導訓練を実施した。
8 月 20 日	14：30 ～ 14：50	総合訓練（夜間想定）	4 階ユニットにおいて、夜間における火災時の役割分担等を確認するとともに施設内にある消火器を使用して初期消火訓練、放送設備での非常放送、避難誘導訓練を実施した。
9 月 28 日	14：20 ～ 14：40	総合訓練	デイサービスにおいて火災時における役割分担等を確認するとともに施設内にある消火器を使用して初期消火訓練、放送設備での非常放送、避難誘導訓練を実施した。
10 月 26 日	15：00 ～ 15：20	総合訓練	2 階ユニットにおいて、火災時における役割分担等を確認するとともに施設内にある消火器を使用して初期消火訓練、放送設備での非常放送、避難誘導訓練を実施した。
2 月 22 日	14：20 ～ 14：40	総合訓練	デイサービスにおいて火災時における役割分担等を確認するとともに施設内にある消火器を使用して初期消火訓練、放送設備での非常放送、避難誘導訓練を実施した。

10. 法話会活動報告

参加者数が平均 37 名、多い時には 45 名を超え、入居者にとっても楽しみな行事のひとつとなってきている。時事にからめた講話や頭の体操・歌など、内容も多岐にわたり、講師方とのふれあいの機会を楽しみにしている方も多い。また、参加するボランティア・実習生などにも貴重な学びの場となっている。

時間・場所　　毎週金曜日 10：00～11：00（60 分）4 階　月影堂
参加者　　講師 9 名による当番制で 2～3 名、入居者 20～30 名、
家族、ボランティア 4～5 名、実習生、職員 2～5 名

法話会実施状況

月	日付	入居者人数	家族人数	ボランティア	職員人数	実習生人数	講師人数	人数計	主な内容
4月	6　日	32	0	3	2	0	1	38	その人らしく生活するために居場所の理解、歌
	13　日	23	0	4	2	0	1	30	体操、絵本「小雀の冒険」、季節の歌
	20　日	30	0	4	2	0	1	36	花まつりと法然上人の話、季節の歌 2 曲
	27　日	40	0	4	10	0	4	58	降誕会
5月	11　日	23	0	3	2	0	2	30	青少年研修会の話、遺伝から親子のつながりの話
	18　日	31	0	4	2	0	1	38	教誨師・篤志面接官などの話、歌 2 曲
	25　日	29	1	4	5	0	1	40	追悼文紹介、再会の話、季節の歌 2 曲
6月	1　日	23	0	5	3	0	2	33	絵本「せんたくかあさん」、御詠歌、歌 2 曲
	8　日	25	1	5	2	0	2	35	法話の布教師の話、地域での暮らしの様子や人たち、歌
	22　日	24	0	5	3	0	1	33	資料に基づき「人の縁・人間模様など」の話
	29　日	29	0	4	4	2	2	41	日露戦争の話、新盆の話、一枚起請文、季節の歌 2 曲
7月	7　日	29	0	6	8	0	8	51	盂蘭盆会
	20　日	21	0	5	3	0	2	31	絵本かわいそうな象の話、御詠歌、歌
	27　日	26	0	4	2	0	1	33	1 人の追悼文紹介、お施餓鬼の話、季節の歌 2 曲

月	日付	入居者人数	家族人数	ホランティア	職員人数	実習生人数	講師人数	人数計	主な内容
8月	3　日	25	0	4	2	0	1	32	奠供（四智梵語）、西福寺だより、歌集より歌
	24　日	30	0	5	3	7	2	47	災害時の護衛艦、一切皆苦、お盆の話、季節の歌
	31　日	25	0	5	1	0	2	33	御仏に抱かれての話、老いの幸福度・満足度の話
9月	7　日	26	0	5	2	0	1	34	敬老会での表彰者の紹介、災害について、季節の歌2曲
	14　日	21	1	5	4	2	3	33	追悼文2名紹介、災害の話、お寺のお盆の話
	28　日	27	0	5	4	0	2	38	体操、紙芝居「雨の日のバス旅行」、茶栗柿酢を売る話、歌1曲
10月	5　日	24	0	5	3	0	1	33	ブラジルでの長谷川良信の60年の足跡、歌2曲
	12　日	25	0	5	3	0	1	34	十夜法要の話と映像紹介、季節の歌2曲
	19　日	29	0	5	2	0	2	38	台風の話題、ダウン症の子供の話、季節の歌2曲
	26　日	28	0	5	4	0	1	38	心の相続の話、お通夜・お葬式の話
11月	2　日	26	0	4	4	0	2	36	絵本「となりのたぬき」歌2曲、御詠歌
	9　日	25	1	5	3	0	1	35	30年度のスライドにて行事紹介、歌2曲
	16　日	29	0	5	3	0	2	39	相田みつをの詩「めぐりあい」季節の歌
	30　日	25	0	5	4	0	1	35	語彙力を試そう、季節の歌2曲
12月	7　日	39	0	5	12	0	7	63	成道会
	14　日	21	0	4	2	0	1	28	大事なことの話、季節の歌2曲
	21　日	26	0	5	3	0	2	37	追悼文2名紹介、歴史的人物の逸話・人情噺し
1月	11　日	23	0	5	4	0	1	33	朗読「もちもちの木」、体操、歌
2月	1　日	18	0	5	8	0	6	37	涅槃会
	8　日	11	0	5	3	0	1	20	嘘をつくことの恐ろしさ・嘘は罪である、歌
	15　日	24	0	5	3	0	1	33	追悼文2名紹介、人間はどこから来てどこに行く
	22　日	18	0	4	4	0	2	28	絵本「花さき山」・歌、十二支の話、御詠歌
3月	1　日	23	0	4	3	0	2	32	船橋大仏追善供養、命日供養・家族の話、歌1曲
	29　日	26	0	5	4	0	1	36	私の裏庭はやめて　（住民のエゴ）
計		979	4	175	138	11	75	1,379	

11. ボランティア受入報告

今年度も定期的なボランティアのほか、行事のボランティアなど、多くの個人やグループ、地域のご協力をいただくことができた。

日程	活動内容	活動場所、イベント	所属（グループ名）	人数
毎週月	喫茶の運営	喫茶サイホォン	－	2名
毎週火	喫茶の運営	喫茶サイホォン	－	2名
毎週水	喫茶の運営	喫茶サイホォン	－	2名
毎週水	喫茶の運営	喫茶サイホォン	－	2名
毎週木	喫茶の運営	喫茶サイホォン	－	2名
毎週金	喫茶の運営、勤行の見守り	喫茶サイホォン	－	2名
不定期・継続	車椅子の修繕、点検	特養ユニット・デイ	－	1名
第1.3月曜	書道	特養ユニット	コスモス会	1名
第1.3月曜	書道の見守り・誘導	特養ユニット	－	1名
不定期・継続	華道	デイ	－	1名
不定期・継続	書道	デイ	－	1名
毎週金曜	勤行の誘導・見守り等	勤行	－	5名
隔週金	歌の演奏・合唱	特養ユニット	ひろの会	1名
毎月1回	編み物	特養ユニット	－	1名
4月17日,6月26日,10月30日	車椅子清掃	郵政労組奉仕活動	ＪＰ労組	約20名
5月22日	清掃奉仕	玄関下駄箱清掃	（元）入居者ご家族	3名
5月25日,7月13日,9月28日,11月30日	カラオケ披露	デイ	シルバームーン	3名
7月6日	大江戸 玉すだれ	盂蘭盆会	－	1名
7月22日	和太鼓	納涼祭	紅嶽太鼓	約10名
7月22日	盆踊り	納涼祭	葉月会	約7名
7月22日	演舞	納涼祭	飛翠迅	約25名
7月22日	見守り	納涼祭	淑徳大生	5名
7月22日	模擬店手伝い	郵政労組奉仕活動	ＪＰ労組	約20名
11月22日	日本舞踊・フラダンス	特養ユニット・デイ	生浜地区生実町みつる会	8名
12月7日	日本舞踊	成道会	角栄舞踊会	6名
12月20日	トーンチャイム	クリスマス会	結	約10名
12月26日	餅つき	餅つき大会	ご家族等	4名
1月7日	ニューイヤーコンサート	コンサート	淑徳大学 看護栄養学部生	約50名
			計	約196名

｜喫茶サイホォン実施状況

月	稼動日	コーヒー	紅茶	梅昆布茶	ココア	緑茶	季節茶	合計
4 月	19 日	225	15	65	27	10	25	367
5 月	18 日	200	6	73	29	8	0	316
6 月	18 日	205	10	86	28	8	0	337
7 月	18 日	198	5	101	27	4	0	335
8 月	12 日	153	6	77	17	8	0	261
9 月	12 日	179	10	63	19	7	11	289
10 月	20 日	263	7	41	25	9	61	406
11 月	19 日	251	6	66	16	7	26	372
12 月	13 日	155	12	55	19	0	15	256
1 月	4 日	57	4	9	5	2	12	89
2 月	16 日	165	5	30	12	8	17	237
3 月	16 日	173	2	37	14	2	0	228
計	185 日	2, 224	88	703	238	73	167	3, 493

編み物会

生実町婦人会による演劇

角栄舞踊会による日本舞踊

淑徳大学看護栄養学部コンサート

12. 家族会報告

発会から８年目となり、年２回の清掃奉仕、敬老会、もちつき大会の共催には毎回多数のご家族様の協力が得られた。

その他、平成 30 年度は以下のように運営された。

| 活動内容

頻度・日時	内容
5 月 27 日	第一回役員会・清掃奉仕・総会・懇談会
9 月 17 日	敬老会に紅白饅頭を提供
12 月 1 日	第二回清掃奉仕・懇談会
12 月 27 日	もちつき大会
随　　時	共生苑職員へ祝い金支給、ポロシャツ支給
随　　時	退所者へ香典、餞別支給

第二回清掃奉仕

第一回総会・懇談会　掲示物

第一回総会

第二回懇談会

社会福祉法人
淑徳福祉会
淑徳共生苑